

総社市学校施設長寿命化計画

令和2年3月

総 社 市

目 次

1	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1.1	背景	1
1.2	目的	1
1.3	計画期間	2
1.4	対象施設	2
2	学校施設の目指すべき姿	12
3	学校施設の実態	13
3.1	学校施設の運営状況・活用状況等の実態	13
3.2	施設の老朽化状況の実態	24
4	学校施設整備の基本的な方針等	43
4.1	学校施設の規模・配置計画等の方針	43
4.2	改修等の基本的な方針	43
5	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	48
5.1	改修等の整備水準	48
5.2	維持管理の項目・手法等	49
6	長寿命化の実施計画	50
6.1	改修等の優先順位付け	50
6.2	長寿命化の実施計画	59
6.3	長寿命化によるコスト、効果の見通し	61
7	長寿命化計画の継続的運用方針	70
7.1	情報基盤の整備と活用	70
7.2	推進体制等の整備	71
7.3	フォローアップ	72

1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1.1 背景

全国的に、高度経済成長期を中心に整備された公共建築物及びインフラ資産（以下「公共施設等」という。）が、今後、更新時期を迎えることとなり、公共施設等の状況の把握や老朽化対策の実施、財政負担軽減に向けた対策の実施などが求められる中、総社市（以下「本市」という。）においても、施設の多くは老朽化が進行しているほか、財政面を見てみると、長期的には人口減少による市税収入の減少、高齢化に伴う扶助費等の義務的経費の増大による財政状況の悪化が見込まれています。

このようなことから、本市では公共施設等の適正配置と有効活用及び財政負担の軽減・平準化について検討を行い、公共施設等のマネジメントに向けた基本方針を設定した『公共施設等総合管理計画』（平成 29 年 3 月）を策定いたしました。

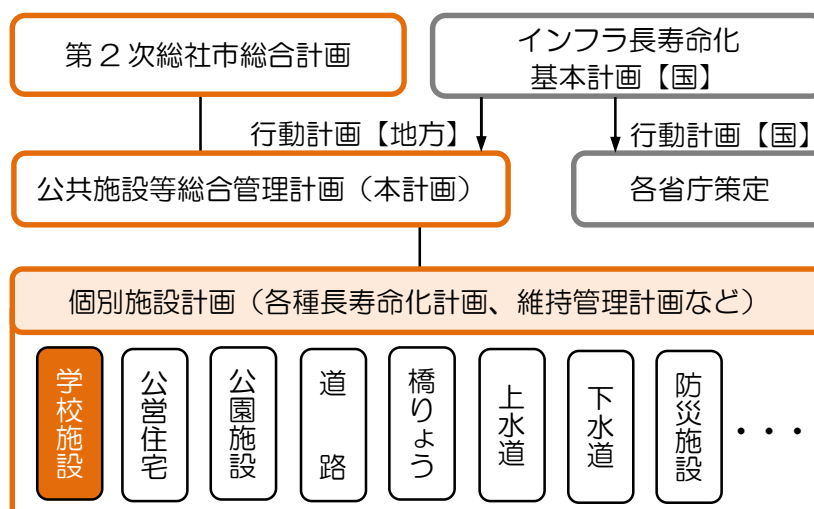
そして、『公共施設等総合管理計画』（平成 29 年 3 月）を踏まえ、学校施設を対象とした具体の対応方針を定めるとともに、対策の内容や実施時期を定めた総社市学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）を策定するものです。

1.2 目的

本計画は、学校施設を対象として、利用状況や劣化状況等を把握するとともに、施設整備の優先順位や整備時期を設定し、計画的な保全を行うことによる施設の長寿命化や財政負担の平準化等を図ることを目的に定めるものです。

本計画は、『公共施設等総合管理計画』（平成 29 年 3 月）に基づく、学校施設の個別施設計画であり、今後は、本計画に定める対策の内容や実施時期を基本とし、施設整備を実施することとします。

図表 1.2.1 計画の位置づけ

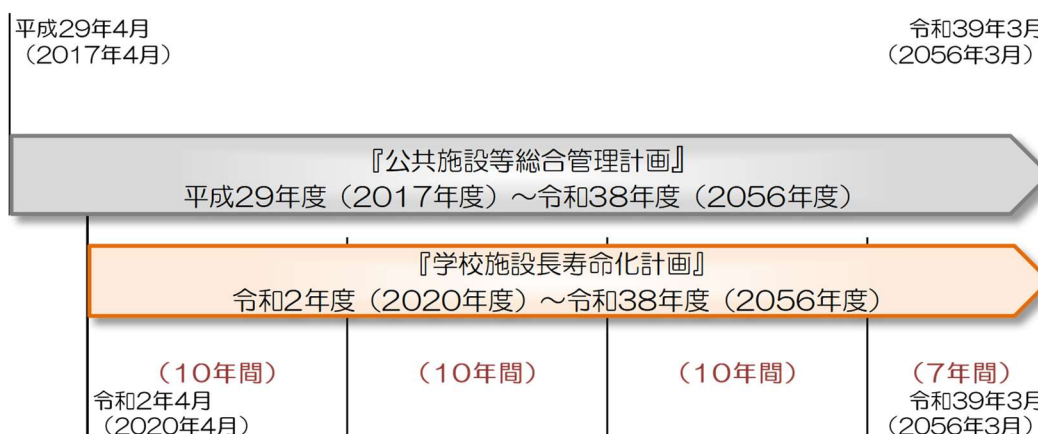


1.3 計画期間

本計画の上位計画である『公共施設等総合管理計画』（平成29年3月）の計画期間が、平成29年度（2017年度）から令和38年度（2056年度）までの40年間としていることから、本計画の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和38年度（2056年度）までの37年間とします。

なお、本計画は財政状況等を踏まえた実効性の高い計画としていくため、おおむね10年毎に施設の保全状況や必要経費等の検証・検討を行うとともに、児童生徒数の変化や本市の財政状況、国の補助制度などの動向によって、計画期間内であっても必要に応じて適宜見直すこととします。

図表 1.3.1 計画期間



1.4 対象施設

(1) 対象施設

本計画の対象となる施設は、小学校14校、中学校4校、幼稚園16園、認定こども園1園の35施設です。

総社小学校、いじりの認定こども園については、平成31年に建物を新設したために、本計画の対象外とします。

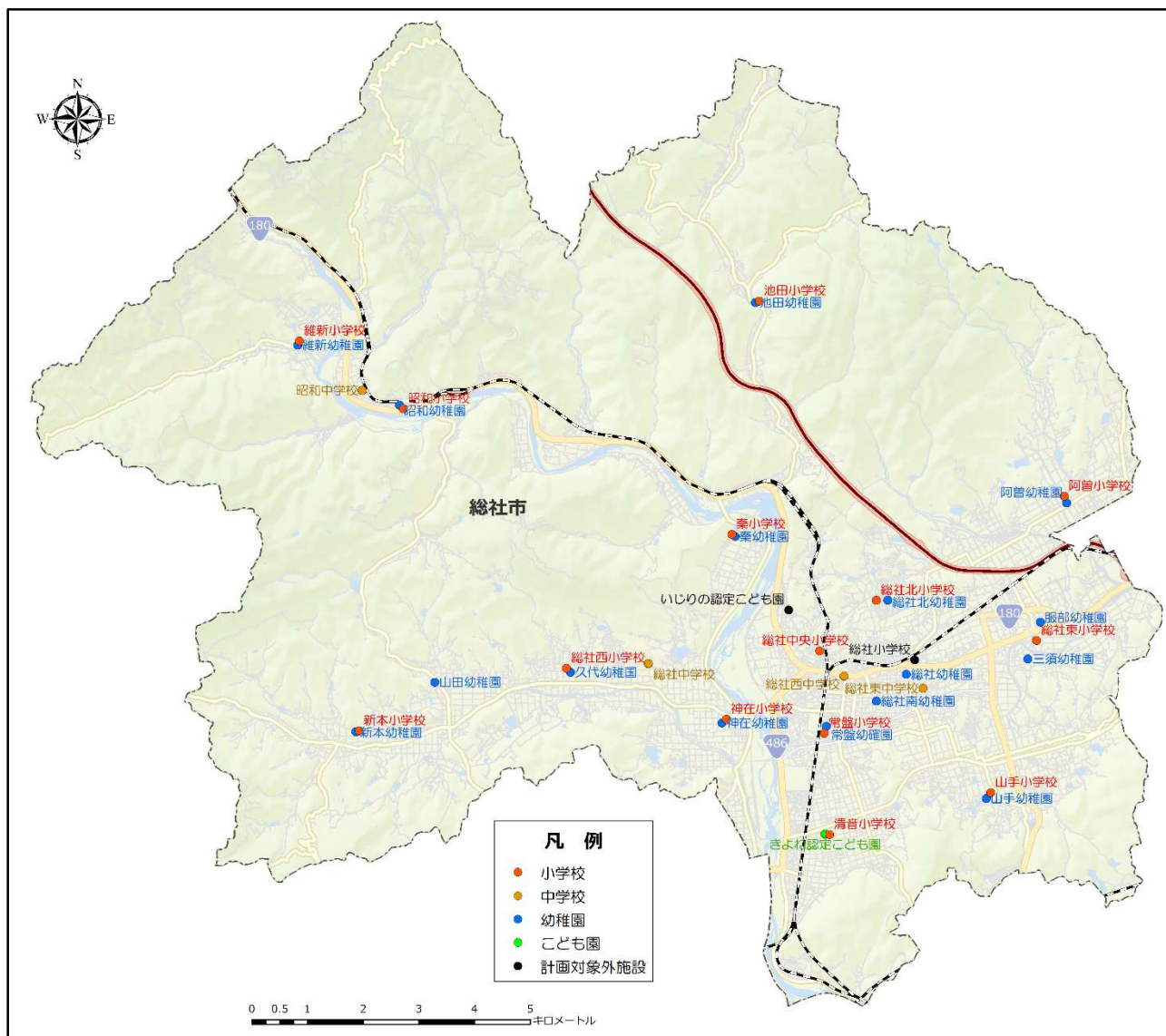
図表 1.4.1 対象施設

施設区分	施設数
小学校	14校
中学校	4校
幼稚園	16園
認定こども園	1園
計	35施設

図表 1.4.2 対象施設一覧

区分	番号	施設名称
小学校	1	総社中央小学校
	2	総社北小学校
	3	常盤小学校
	4	総社東小学校
	5	阿曾小学校
	6	池田小学校
	7	秦小学校
	8	神在小学校
	9	総社西小学校
	10	新本小学校
	11	昭和小学校
	12	維新小学校
	13	山手小学校
	14	清音小学校
中学校	1	総社東中学校
	2	総社西中学校
	3	総社中学校
	4	昭和中学校
幼稚園	1	総社幼稚園
	2	総社南幼稚園
	3	総社北幼稚園
	4	常盤幼稚園
	5	三須幼稚園
	6	服部幼稚園
	7	阿曾幼稚園
	8	池田幼稚園
	9	秦幼稚園
	10	神在幼稚園
	11	久代幼稚園
	12	山田幼稚園
	13	新本幼稚園
	14	昭和幼稚園
	15	維新幼稚園
	16	山手幼稚園
認定こども園	1	きよね認定こども園

図表 1.4.3 対象施設位置図

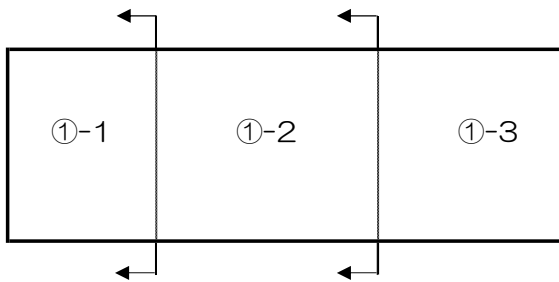


(2) 対象建築物及び一体的な建築物の考え方

本計画の対象となる建築物(棟)は、200㎡以下の倉庫、部室、便所等の小規模な建築物(棟)を除いたものとし、教室棟(幼稚園、中学校)、遊戯室棟(幼稚園)にあっては、200㎡以下の建築物(棟)であっても対象とします。

また、棟番号が同じ場合には、一体的な建築物(棟)として扱うこととするほか、棟番号が異なる場合においても、改築や改修を一体的に実施することが望ましいと考えられる場合には、一つの建築物として取り扱うようにします。

図表 1.4.4 一つの建築物と扱う棟の考え方

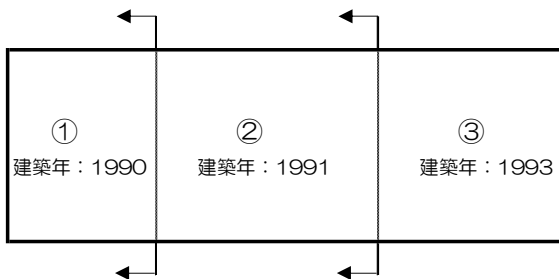


例1：【一つの建築物において、棟番号が同じ場合】

- ・ 建築年、規模等に関わらず「一つの棟」として扱うものとする。

建築年は最も古い建築年とする。

また、面積はすべての棟の合計面積とする。



例2：【一つの建築物において、棟番号が異なる場合】

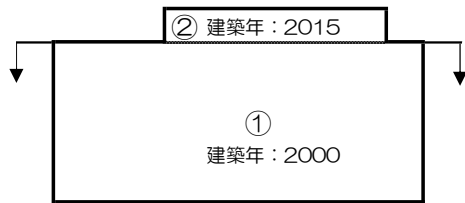
※建築年の差が5年未満の場合

- ・ 各棟の建築年の差が5年未満の場合には、「一つの棟」として扱うものとする。

注：但し、隣接する棟の場合とする。

建築年は最も古い建築年(1990年)とする。

また、面積はすべての棟の合計面積とする。



例3：【一つの建築物において、棟番号が異なる場合】

※建築年の差が5年以上の場合

- ・ 各棟の建築年の差が5年以上離れていれば、別々の棟として扱うものとする。ただし、②の棟の面積が200㎡未満(小規模)の場合には、①の棟と同時に解体されると考えて、「一つの棟」として扱うものとする。

注：但し、校舎棟の場合には、200㎡未満でも別棟と考える。

建築年は最も古い建築年(2000年)とする。

また、面積はすべての棟の合計面積とする。



例4：【棟番号が異なり、独立した建築物の場合】

- ・ 建築年、規模等に関わらず別々の棟として扱う

注：①、②は、棟番号を示す

図表 1.4.5 小学校計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分 名称	個別施設計画の 対象区分
総社中央小学校	4		管理教室棟	R	3	1981年2月	1,413	校舎1	計画対象棟
	5		特別教室棟	R	3	1981年2月	413		
	6		普通教室棟	R	3	1981年2月	1,958	校舎2	計画対象棟
	7		倉庫	S	1	1981年2月	81	—	計画対象外棟
	8		屋内運動場	S	2	1981年2月	800	体育館	計画対象棟
	9		更衣室	S	1	1981年6月	18	—	計画対象外棟
	10		機械室	S	1	1981年6月	12	—	計画対象外棟
	11		倉庫	S	1	1981年6月	15	—	計画対象外棟
総社北小学校	1	1	管理教室棟	R	3	1985年8月	2,432	校舎1	計画対象棟
	2		管理棟	R	3	1985年8月	722		
	3		特別教室棟	R	3	1985年8月	1,040		
	8		倉庫・便所	S	1	1985年8月	100	—	計画対象外棟
	9		屋内運動場	R	2	1985年12月	882	体育館	計画対象棟
	10		クラブハウス	R	2	1985年12月	109		
	11		更衣室	S	1	1986年8月	23	—	計画対象外棟
	12		機械室	S	1	1986年8月	41	—	計画対象外棟
常盤小学校	10		教室棟	R	2	1968年12月	259	校舎1	計画対象棟
	29		教室棟	R	2	1971年12月	693		
	30		教室棟	R	2	1974年12月	382		
	18		教室棟	R	3	1979年3月	652	校舎2	計画対象棟
	35		便所棟	R	3	1979年3月	54		
	19		倉庫	S	1	1981年2月	79	—	計画対象外棟
	20		屋内運動場	S	2	1982年2月	801	体育館	計画対象棟
	21		特別教室棟	R	3	1984年2月	1,083	校舎3	計画対象棟
	22		管理普通教室棟	R	3	1990年3月	1,495	校舎4	計画対象棟
	31		教室棟	R	1	1990年3月	270		
	32		管理棟	R	1	1990年3月	29		
	23		便所	S	1	1991年1月	11	—	計画対象外棟
	24		プール更衣室	S	1	1991年1月	43	—	計画対象外棟
	25		油庫	S	1	1992年10月	7	—	計画対象外棟
	26		倉庫	S	1	2005年3月	31	—	計画対象外棟
	27		倉庫	S	1	2008年3月	31	—	計画対象外棟
	28		機械室	S	1	1991年1月	29	—	計画対象外棟
	33		教室棟	R	2	2010年3月	539	校舎5	計画対象棟
36		教室棟	S	2	2017年3月	406	校舎6	計画対象棟	
総社東小学校	1	1	普通・特別教室棟	R	2	1972年3月	994	校舎1	計画対象棟
	1	2	普通教室	R	2	1973年5月	286		
	21		便所	S	2	2013年11月	20		
	2		管理・特別教室棟	R	2	1973年5月	1,355	校舎2	計画対象棟
	13		放送室	R	1	1988年9月	33		
	19		給食コンテナ室	S	1	2005年10月	22	体育館	計画対象棟
	3		屋内運動場	S	2	1974年3月	621		
	4		らく焼	S	1	1973年5月	10	—	計画対象外棟
	5	1	倉庫	S	1	1973年5月	20	—	計画対象外棟
	5	2	倉庫	S	1	1984年7月	20		
	6		便所	S	1	1973年5月	12	—	計画対象外棟
	7		倉庫	S	1	1973年5月	20	—	計画対象外棟
	8		倉庫	S	1	1974年8月	32	—	計画対象外棟
	9		更衣室	S	1	1978年9月	24	—	計画対象外棟
	11		便所	S	1	1981年7月	12		
	10		倉庫	S	1	1981年2月	34	—	計画対象外棟
	12		倉庫	S	1	1983年8月	16	—	計画対象外棟
	18		普通教室	R	2	2002年1月	214	校舎3	計画対象棟
20		普通教室棟	S	2	2012年10月	314	校舎4	計画対象棟	

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

図表 1.4.6 小学校計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分 名称	個別施設計画の 対象区分
阿曾小学校	12		更衣室	S	1	1978年3月	25	—	計画対象外棟
	13		管理教室棟	R	3	1980年1月	1,083	校舎1	計画対象棟
	18		玄関・スタジオ	R	1	1990年3月	46		
	15		屋内運動場	S	2	1987年3月	901	体育館	計画対象棟
	16		倉庫	S	1	1987年3月	43	—	計画対象外棟
	17		普通教室棟	R	3	1990年3月	1,308	校舎2	計画対象棟
	19		倉庫	S	1	1991年1月	32	—	計画対象外棟
池田小学校	3	1	管理教室棟	R	3	1969年12月	806	校舎1	計画対象棟
	3	2	—	R	2	1971年3月	81		
	3	3	—	R	1	1993年9月	42		
	15		—	S	1	1993年9月	24		
	16		—	S	1	1993年9月	24		
	17		便所・ミーティング棟	R	3	2016年8月	76		
	18		図書室・昇降口	S	1	2016年8月	121		
	7		教室棟	R	3	1981年3月	882	校舎2	計画対象棟
	8		倉庫	S	1	1981年3月	40	—	計画対象外棟
	10		便所	R	1	1986年9月	16	—	計画対象外棟
	11		屋内運動場	S	2	1988年3月	847	体育館	計画対象棟
	12		渡り廊下	S	2	1988年3月	83		
	13		倉庫	S	1	1989年12月	10	—	計画対象外棟
	14		便所・更衣室	S	1	1989年12月	22	—	計画対象外棟
19		倉庫	S	1	2017年3月	13	—	計画対象外棟	
秦小学校	13		管理・教室棟	R	3	1979年2月	1,833	校舎1	計画対象棟
	14		屋内運動場	S	2	1980年5月	558	体育館	計画対象棟
	15		倉庫	S	1	1989年9月	28	—	計画対象外棟
	16		便所・更衣室	S	1	1996年3月	35	—	計画対象外棟
	17		倉庫	S	1	2004年9月	31	—	計画対象外棟
	18		ポンプ室・プロパン庫	S	1	1979年2月	6	—	計画対象外棟
神在小学校	12		管理特別教室棟	R	3	1980年1月	1,139	校舎1	計画対象棟
	13		屋内運動場	S	2	1979年12月	585	体育館	計画対象棟
	15	1	普通教室棟	R	2	1988年2月	891	校舎2	計画対象棟
	15	2	保健室	R	2	1992年8月	105		
	15	3	給食コンテナ室	R	1	2001年3月	112		
	16		倉庫	S	1	1988年11月	32	—	計画対象外棟
	17		倉庫・便所・機械室	S	1	1988年8月	35	—	計画対象外棟
	18		更衣室	S	1	1988年8月	20	—	計画対象外棟
	19		特別教室棟	R	2	2001年3月	305	校舎3	計画対象棟
総社西小学校	5		便所	S	1	1968年10月	44	—	計画対象外棟
	6	1	教室棟	R	2	1966年2月	903	校舎1	計画対象棟
	6	2	教室棟	R	2	1967年1月	174		
	10		らく焼	S	1	1973年12月	8	—	計画対象外棟
	11	1	教室棟	R	2	1976年12月	269	校舎2	計画対象棟
	14		教室棟	R	2	1980年1月	226		
	15		屋内運動場	S	2	1982年2月	699	体育館	計画対象棟
	23		管理教室棟	R	2	1994年8月	1,668	校舎3	計画対象棟
	25		倉庫・トイレ	R	1	2002年5月	82	—	計画対象外棟
	26		プールハウス	R	1	2002年5月	113	—	計画対象外棟

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

図表 1.4.7 小学校計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分名 称	個別施設計画の 対象区分
新本小学校	12		更衣室・便所	S	1	1973年8月	14	—	計画対象外棟
	13		機械室	S	1	1973年8月	18	—	計画対象外棟
	15		特別教室棟	R	2	1981年2月	690	校舎1	計画対象棟
	17		便所	W	1	1981年3月	23	—	計画対象外棟
	18		屋内運動場	S	2	1984年2月	689	体育館	計画対象棟
	20		倉庫	S	1	1987年3月	27		
	21	1	管理普通教室棟	R	3	1988年2月	1,229	校舎2	計画対象棟
	21	2	管理普通教室棟	R	3	2002年11月	41		
	23		図書室	R	1	2002年11月	36		
昭和小学校	17		更衣室	S	1	1978年9月	24	—	計画対象外棟
	19		管理特別棟	R	2	1989年3月	1,235	校舎1	計画対象棟
	20	1	普通教室棟	R	2	1989年3月	1,339	校舎2	計画対象棟
	20	2	給食・コンテナ室	S	1	1999年3月	16		
	21		便所・倉庫	S	1	1989年3月	49	—	計画対象外棟
	22		屋内運動場	S	3	1999年3月	907	体育館	計画対象棟
	23		倉庫	S	1	1999年3月	42	—	計画対象外棟
維新小学校	9		脱衣棟	S	1	1974年7月	14	—	計画対象外棟
	10		機械室	S	1	1974年6月	17	—	計画対象外棟
	11	1	教室棟	R	3	1991年6月	2,097	校舎1	計画対象棟
	11	2	ミーティングルーム	R	1	1991年6月	154		
	12		屋内運動場	S	2	1992年3月	873	体育館	計画対象棟
	13		油庫	S	1	1992年3月	7	—	計画対象外棟
山手小学校	1	1	教室棟	R	3	1978年4月	1,403	校舎1	計画対象棟
	1	2	教室棟	R	3	1978年7月	200		
	2		屋体棟	S	2	1978年4月	895	体育館	計画対象棟
	3	1	管理棟	R	2	1979年2月	1,162	校舎2	計画対象棟
	3	2	階段室	R	2	2002年2月	12		
	12		教室棟	R	2	2002年2月	192		
	6		倉庫	W	1	1984年3月	8	—	計画対象外棟
	7		付属室	R	1	1988年7月	60	—	計画対象外棟
	8		体育庫	W	1	1989年2月	58	—	計画対象外棟
	9		給食棟	S	2	1995年2月	381	校舎3	計画対象棟
	10		倉庫	W	1	1996年9月	55	—	計画対象外棟
	13		教室棟	S	2	2015年2月	452	校舎4	計画対象棟
	清音小学校	2	1	倉庫	W	1	1954年12月	169	—
2		2	倉庫	W	1	2004年10月	15		
7		1	管理・普通教室棟	R	2	1968年12月	571	校舎1	計画対象棟
7		2	便所	R	1	1986年12月	7		
22			更衣室	S	1	2002年9月	65		
9		1	教室棟	R	2	1971年12月	642	校舎2	計画対象棟
9		2	階段	S	2	1971年12月	135		
9		3	教室棟	R	2	1977年12月	323		
12			更衣室	R	1	1977年8月	76	—	計画対象外棟
13			管理棟	R	1	1977年8月	24	—	計画対象外棟
14		1	普通・特別教室棟	R	3	1978年12月	719	校舎3	計画対象棟
23			図工室	R	3	1980年12月	907		
15			油庫	S	1	1978年12月	4	—	計画対象外棟
16			屋内運動場	S	2	1983年2月	1,303	体育館	計画対象棟
17			便所	R	1	1983年2月	23	—	計画対象外棟
18			玄関	S	1	1986年8月	46	—	計画対象外棟
19			体育倉庫	W	1	1997年11月	53	—	計画対象外棟
20			便所	R	1	1997年12月	53	—	計画対象外棟
21			便所	R	1	1998年3月	5	—	計画対象外棟

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

図表 1.4.8 中学校計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分 名称	個別施設計画の 対象区分
総社東中学校	27	1	教室棟	R	4	1979年10月	3,565	校舎1	計画対象棟
	27	3	教室棟	S	2	2016年2月	171		
	41		教室棟	R	4	1984年3月	1,815		
	36		倉庫	S	1	1989年11月	75	—	計画対象外棟
	37		倉庫	S	1	1989年11月	56	—	計画対象外棟
	38		教室棟	R	2	1992年12月	439	校舎2	計画対象棟
	40		教室棟	S	1	2000年3月	19		
	39	1	屋内運動場	R	2	1994年3月	1,627	体育館他	計画対象棟
	39	2	クラブハウス	R	2	1994年3月	183		
	39	3	部室	R	2	1994年3月	471		
	39	4	格技場	R	2	1994年3月	509		
42		教室棟	S	2	2013年9月	442	校舎3		
総社西中学校	29	1	教室棟	R	4	1978年3月	1,562	校舎1	計画対象棟
	29	2	教室棟	R	4	1978年5月	1,164		
	32	1	教室棟	R	4	1979年12月	960		
	32	2	教室棟	R	4	1979年12月	1,132		
	38	1	普通教室・特別教室	R	4	1985年3月	1,686	校舎2	計画対象棟
	48		エレベーター棟	R	4	2013年3月	48		
	44	1	屋内運動場	R	2	1991年7月	1,294	体育館他	計画対象棟
	44	2	クラブハウス	R	2	1991年7月	310		
	44	3	部室	R	2	1991年7月	471		
	44	4	格技場	R	2	1991年7月	488		
	46	1	倉庫	S	1	1991年11月	62		
47		教室棟	R	4	2013年3月	717	校舎3	計画対象棟	
総社中学校	9		便所	S	1	1978年7月	15	—	計画対象外棟
	10		更衣室	S	1	1978年7月	25	—	計画対象外棟
	11		機械室	S	1	1978年7月	40	—	計画対象外棟
	18		特別教室棟	R	3	1985年3月	633	校舎1	計画対象棟
	19		特別教室棟	R	2	1985年3月	378	校舎2	計画対象棟
	21		倉庫	R	1	1991年3月	70	—	計画対象外棟
	23		更衣室	S	1	1995年6月	19	—	計画対象外棟
	24		技術室	R	1	2001年7月	324	校舎3	計画対象棟
	25		屋内運動場	R	2	2001年7月	1,495	体育館他	計画対象棟
	26		地域連携分	R	2	2001年7月	422		
	27		倉庫	S	1	2001年7月	41	—	計画対象外棟
	29		教室棟	R	2	1995年12月	199	校舎4	計画対象棟
	31		多目的ホール	R	1	2013年7月	104	校舎5	計画対象棟
	32		管理・教室棟	R	4	2013年7月	3,349		
33		備蓄倉庫	R	1	2014年3月	90	—	計画対象外棟	
昭和中学校	1	1	管理教室棟	R	4	1970年3月	1,414	校舎1	計画対象棟
	1	2	管理教室棟	R	1	1988年10月	13		
	3	1	特別教室	S	1	1966年1月	165	校舎2	計画対象棟
	3	2	特別教室	S	1	1964年1月	192		
	13		更衣室	S	1	1986年8月	27	—	計画対象外棟
	14		機械室・便所	S	1	1986年8月	43	—	計画対象外棟
	15	1	特別教室棟	R	4	1992年3月	735	校舎3	計画対象棟
	15	2	部室	R	1	1992年3月	193		
	15	3	武道場	R	2	1992年3月	274		
	16		屋内運動場	R	1	2007年6月	1,253	体育館	計画対象棟
17		倉庫	S	1	2008年2月	27	—	計画対象外棟	

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

図表 1.4.9 幼稚園計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分 名称	個別施設計画の 対象区分
総社幼稚園	13	1	教室棟	R	2	1984年2月	640	園舎1	計画対象棟
	13	2	管理棟	R	2	1990年3月	63		
	15		教室棟	S	1	1994年3月	36	—	計画対象外棟
	14		倉庫	S	1	1989年8月	24		
	16		教室棟	R	2	2005年3月	204		
総社南幼稚園	3	1	教室棟	R	2	1978年9月	543	園舎1	計画対象棟
	3	2	教室棟	R	2	2004年1月	3		
	7		教室棟	R	2	2004年1月	217	—	計画対象外棟
	4		管理棟	R	1	1978年9月	86		
	5		倉庫	S	1	1991年3月	20		
総社北幼稚園	1		管理教室棟	R	2	1983年3月	598	園舎1	計画対象棟
	2		倉庫	S	1	1983年3月	24	—	計画対象外棟
常盤幼稚園	11		教室棟	R	2	2000年3月	1,576	園舎1	計画対象棟
	12		倉庫	R	1	2000年3月	32	—	計画対象外棟
	13		倉庫	S	1	2008年6月	9	—	計画対象外棟
	14		教室棟	R	1	2009年3月	208	園舎2	計画対象棟
三須幼稚園	8		管理教室棟	S	1	1991年1月	381	園舎1	計画対象棟
	9		倉庫	S	1	1991年3月	32	—	計画対象外棟
服部幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	393	園舎1	計画対象棟
	3		油庫倉庫	S	1	1993年2月	30	—	計画対象外棟
	4		教室棟	S	1	2004年12月	88	園舎2	計画対象棟
阿曾幼稚園	1		遊戯室棟	R	1	1986年3月	100	園舎1	計画対象棟
	2		教室棟	R	1	1986年3月	204		
	3		管理棟	R	1	1986年3月	130	園舎2	計画対象棟
	4		倉庫	S	1	1986年3月	24	—	計画対象外棟
池田幼稚園	4		教室棟	S	1	1995年2月	346	園舎1	計画対象棟
	5		油庫倉庫	S	1	1995年2月	30	—	計画対象外棟
秦幼稚園	3		教室棟	S	1	1994年2月	409	園舎1	計画対象棟
	4		油庫倉庫	S	1	1994年2月	30	—	計画対象外棟
	5		教室棟	S	1	2003年12月	74	園舎2	計画対象棟
神在幼稚園	6		教室棟	S	1	1995年2月	446	園舎1	計画対象棟
	7		倉庫	S	1	1995年2月	30	—	計画対象外棟
久代幼稚園	10		管理保育室棟	S	1	1994年2月	489	園舎1	計画対象棟
	11		遊戯室棟	S	1	1994年2月	167	園舎2	計画対象棟
	12		倉庫	S	1	1994年2月	36	—	計画対象外棟
山田幼稚園	2		管理教室棟	S	1	1992年1月	363	園舎1	計画対象棟
	3		倉庫	S	1	1992年1月	30	—	計画対象外棟
新本幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	397	園舎1	計画対象棟
	3		油庫倉庫	S	1	1993年3月	30	—	計画対象外棟
昭和幼稚園	6		管理保育室棟	R	1	1999年3月	391	園舎1	計画対象棟
	7		倉庫	S	1	1999年3月	36	—	計画対象外棟
維新幼稚園	1		管理保育室棟	S	1	1971年12月	331	園舎1	計画対象棟
	2		倉庫	S	1	1972年9月	9	—	計画対象外棟
	3		倉庫棟	W	1	1971年11月	81	—	計画対象外棟
山手幼稚園	1		管理保育室棟	R	2	1984年3月	637	園舎1	計画対象棟
	2		教室棟	R	1	2014年1月	198	園舎2	計画対象棟

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

図表 1.4.10 きよね認定こども園計画対象建築物（棟）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積（㎡）	管理区分 名称	個別施設計画の 対象区分
きよね認定こども園	3		認定こども園舎	W	1	2002年3月	864	園舎1	計画対象棟
	4		遊具庫棟	W	1	2002年3月	40	-	計画対象外棟
	5		旧保育園舎	R	1	1982年4月	416	園舎2	計画対象棟
	6		給食室	S	1	2016年1月	31		
	7		職員室	S	1	2016年1月	61		

資料：学校施設台帳

注：構造区分のRは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨その他造、Wは木造を示す。

2 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、次世代を担う児童・生徒が学習・生活をしながら多くの時間を過ごす場であり、事件・事故から子ども達を守り、安全で安心な教育環境を構築することが必要不可欠です。

また、少子高齢化社会の進展、家族形態や地域の環境の変化、高度情報化の進展、教育と福祉の連携など、教育を取り巻く状況も変化しており、時代に即した対応が求められています。

一方で、今後は人口減少、少子化に伴い児童・生徒数が減少していくことが懸念される中、学級・学校の規模や配置の適正化を図りながら、災害時の避難場所、地域コミュニティの核としての役割を担うことが求められています。

このような中、本市では、「総社を愛する子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」を目指す子供像に掲げた『第2次 総社市教育振興基本計画』（平成30年3月）を策定しました。

今後は、総社市の未来を担う子ども達を育てるために、当該計画に基づき教育環境の充実を図るための施策を推進します。

施策：就学前教育の充実

- 保育所・認定こども園・幼稚園の充実

施策：心の教育を重視しただれもが行くたくなる学校づくり

- 道徳教育の教科化を踏まえた品格教育の推進
- 子供の読書活動の推進と学習習慣づくりの推進

施策：確かな学力の向上と特色ある学校づくり

- 中学校区ごとの連携による魅力ある学校づくり

施策：世界にはばたく人材を育てる教育特区

- 豊かなコミュニケーション能力と国際的視野をもった人材の育成
- 幼稚園・小学校・中学校における一貫した英語教育の推進
- 体育教育や音楽教育に重点をおいた特区教育の推進

施策：教育施設の整備と適切な維持管理

- 学校施設の整備と適切な維持管理
- 学校給食調理場の建設（※令和元年7月施設完了）

資料：『第2次 総社市教育振興基本計画』（平成30年3月）より抜粋

3 学校施設の実態

3.1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 運営状況・活用状況等の実態

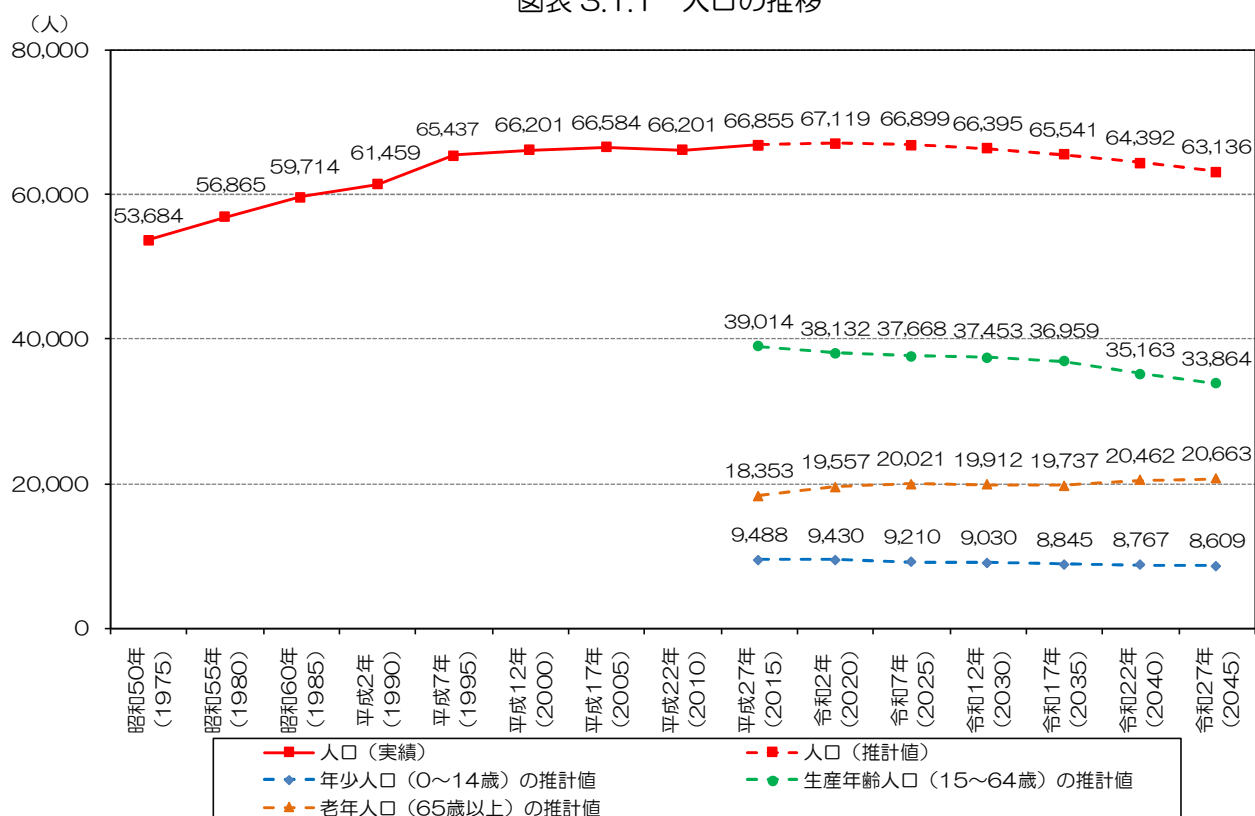
① 人口の推移

本市の人口は、増加を続けてきましたが、平成7年（1995年）以降は、増加の伸びが鈍化しており、平成12年（2000年）以降は、66,000人台を推移しています。

なお、平成30年（2018年）に国立社会保障・人口問題研究所から発表された将来推計人口によると、本市の人口は、令和2年（2020年）以降、減少すると想定されており、令和27年（2045年）に、約63千人になると想定されています。

また、0～14歳までの年少人口については、緩やかに減少していくことが想定されています。

図表 3.1.1 人口の推移



資料：平成27年（2015年）までの人口は、国勢調査による。

令和2年（2020年）からの人口は、国立社会保障・人口問題研究所における平成30年（2018年）の推計値。

② 児童・生徒数及び学級数の推移

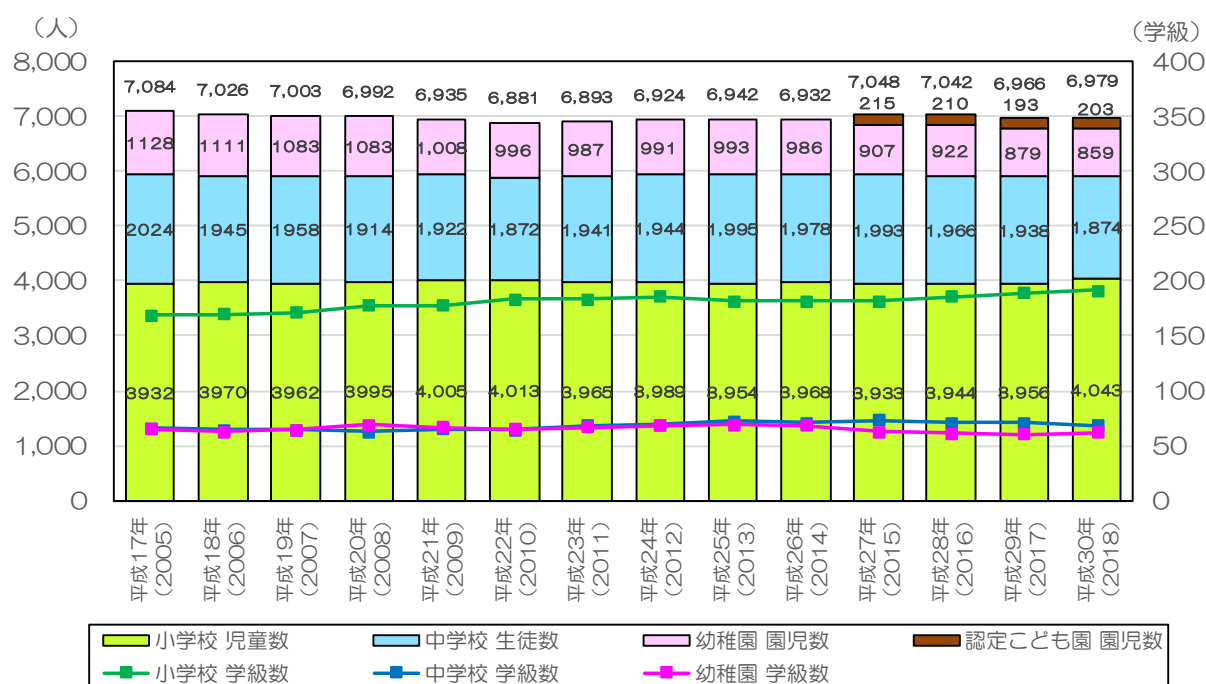
幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒数の合計は、平成17年（2005年）から平成30年（2018年）にかけて、おおむね7,000人前後で横ばい状態を示しています。

小学校の生徒数は、増減を繰り返しながら、近年では増加傾向にあります。

中学校の生徒数及び幼稚園の園児数は、増減を繰り返しながら、近年では減少傾向にあります。

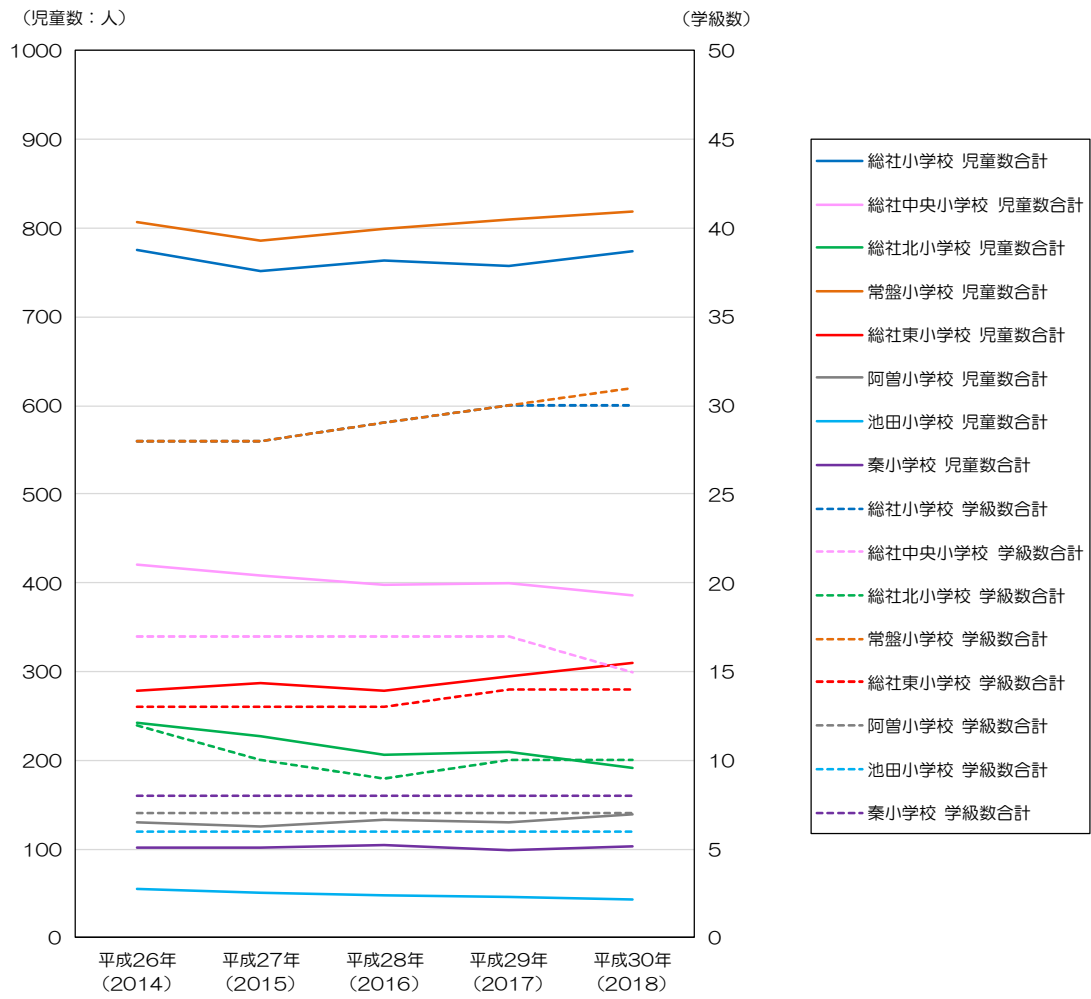
なお、平成27年（2015年）からは、幼保連携認定こども園として、新たにきよね認定こども園が開園しています。

図表 3.1.2 児童・生徒数、学級数の推移

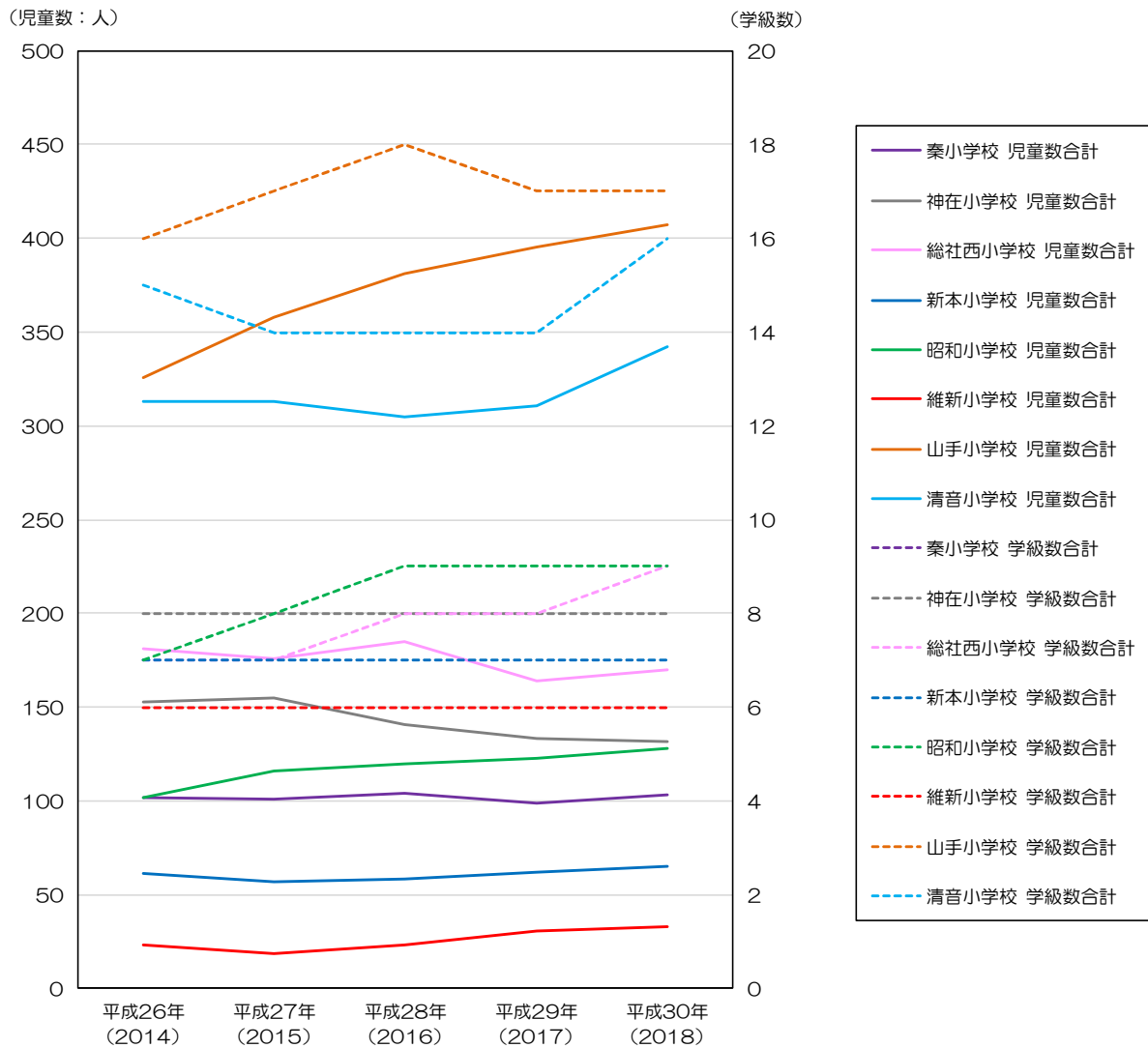


資料：学校基本調査（各年5月1日時点）

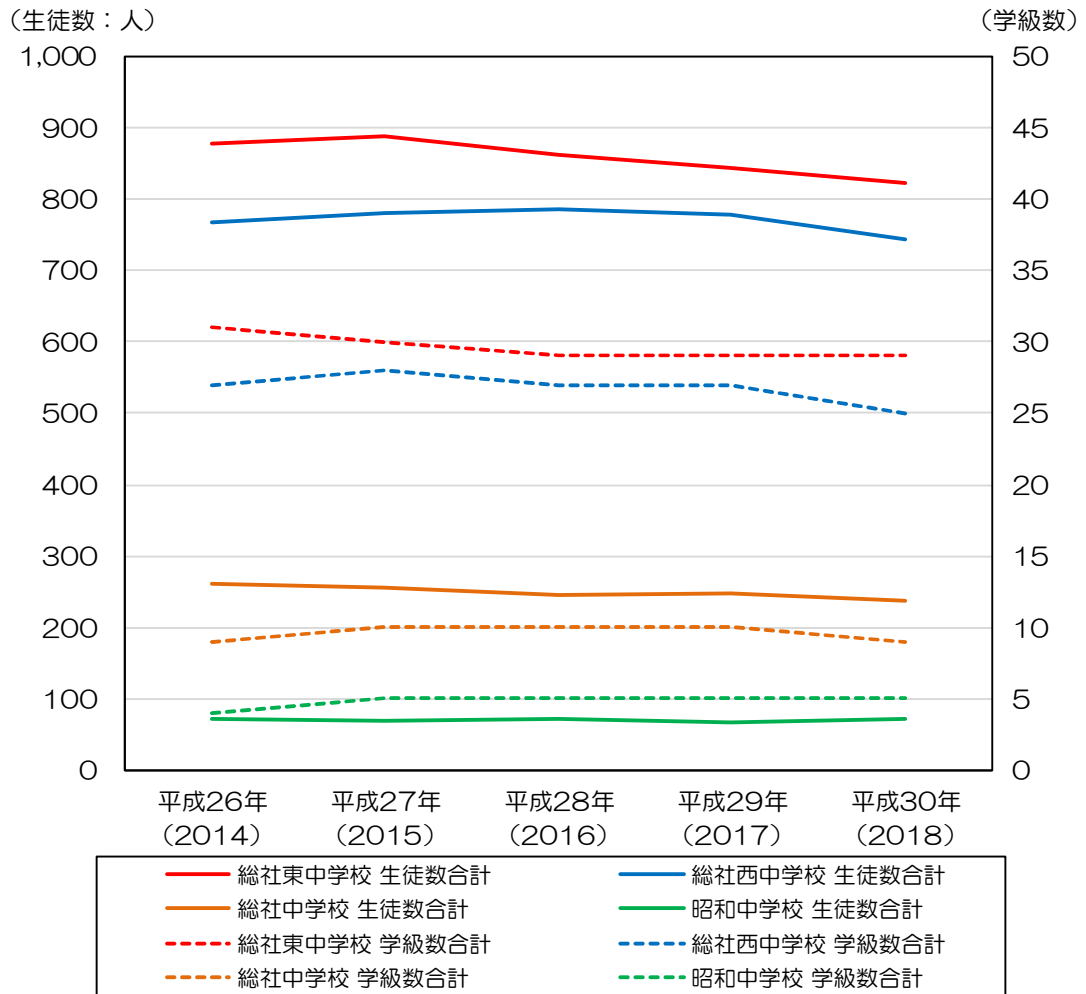
図表 3.1.3 小学校の児童数、学級数の推移 (NO.1)



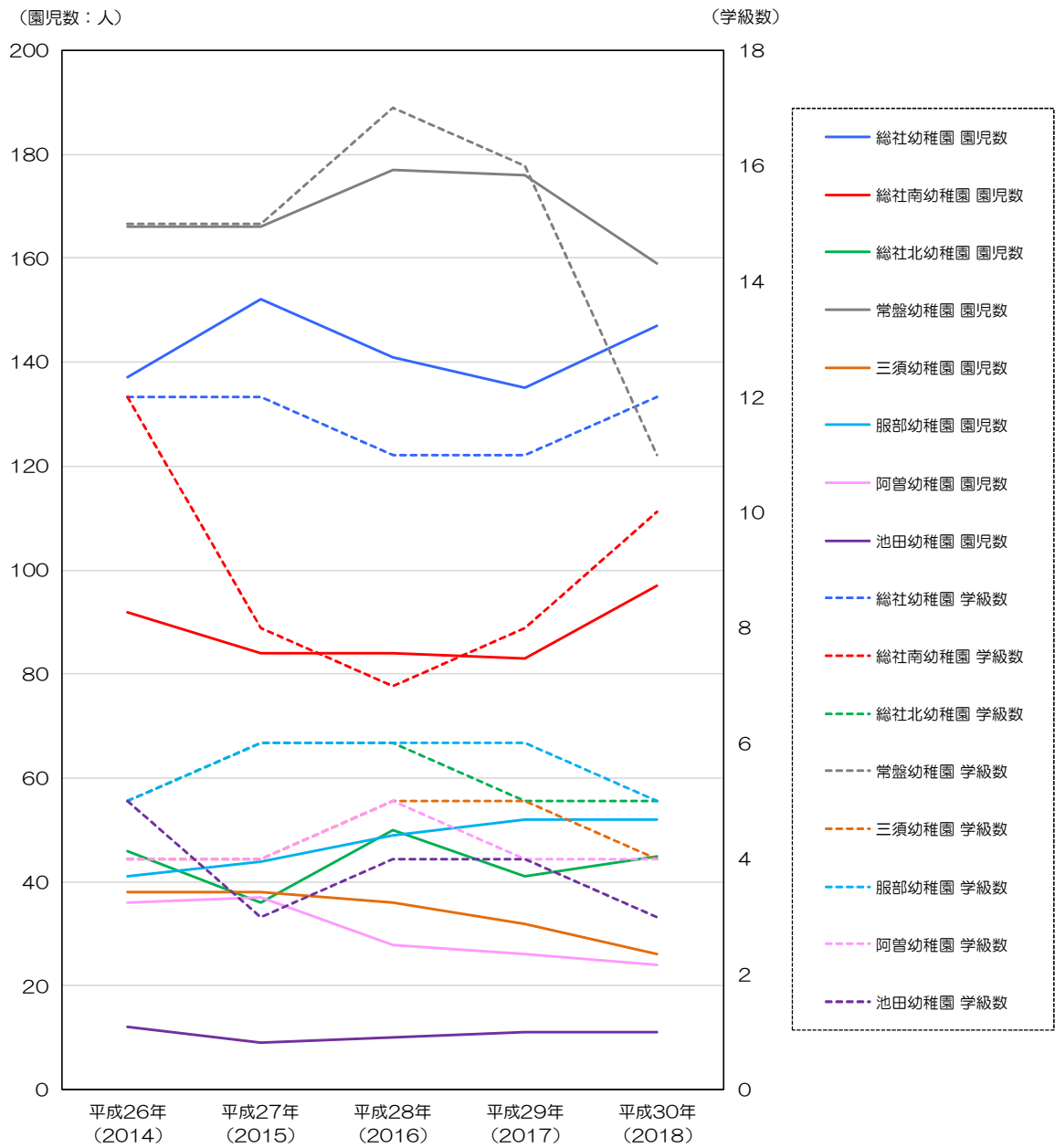
図表 3.1.4 小学校の児童数、学級数の推移 (NO.2)



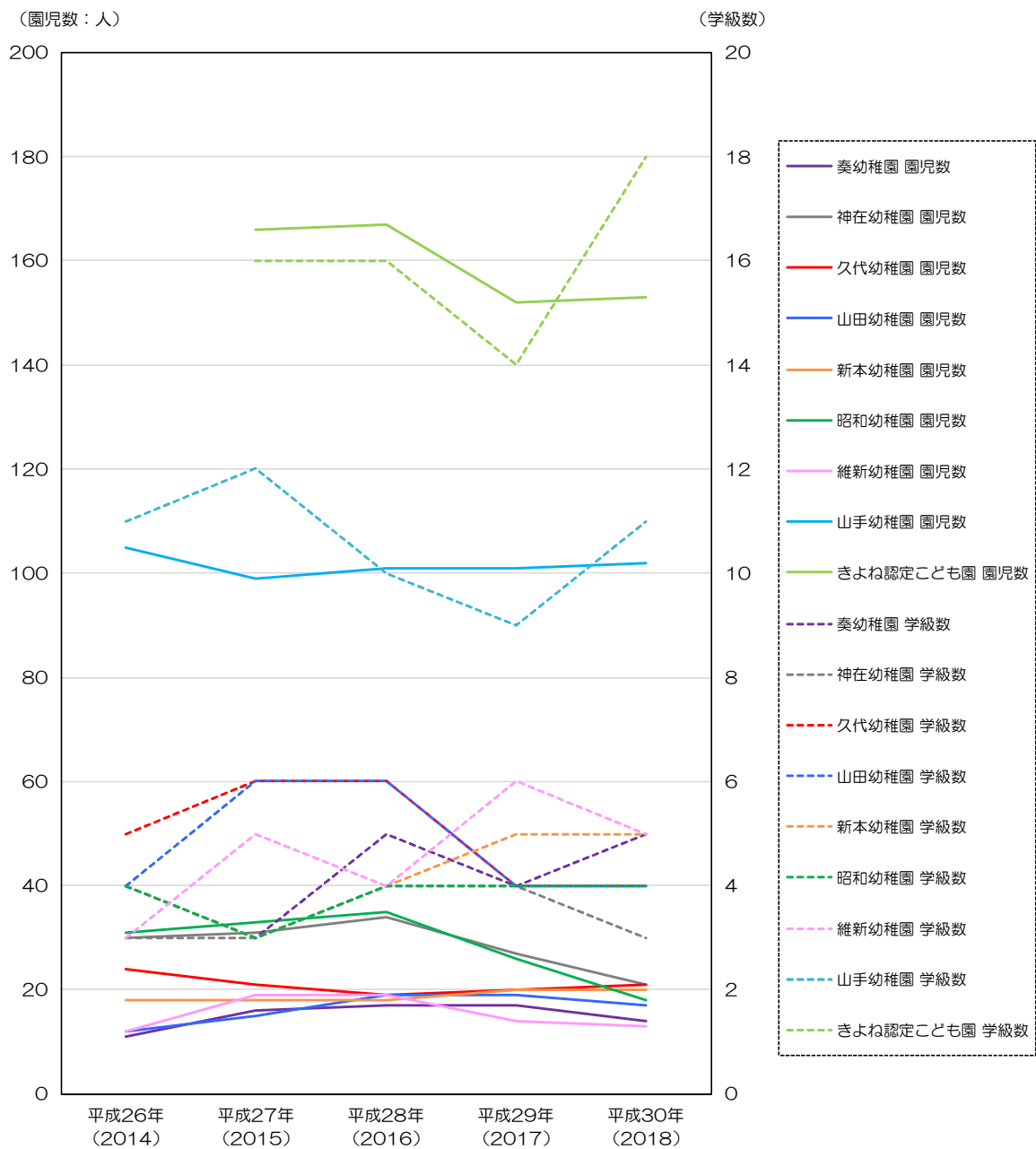
図表 3.1.5 中学校の生徒数、学級数の推移 (NO.1)



図表 3.1.6 幼稚園の園児数、学級数の推移 (NO.1)



図表 3.1.7 幼稚園・認定こども園の園児数、学級数の推移 (NO.2)



③ 学校施設の保有量

200㎡以下の倉庫、部室、便所等の小規模な建築物（棟）を除いた本計画の対象となる建築物（棟）の面積は、96,004㎡です。

本計画の対象となる棟数は157棟ですが、管理区分に基づき一つのまとまった建築物と考えた場合の棟数は93棟です。

このうち、小学校が54,784㎡で、全体の約57%を占めています。

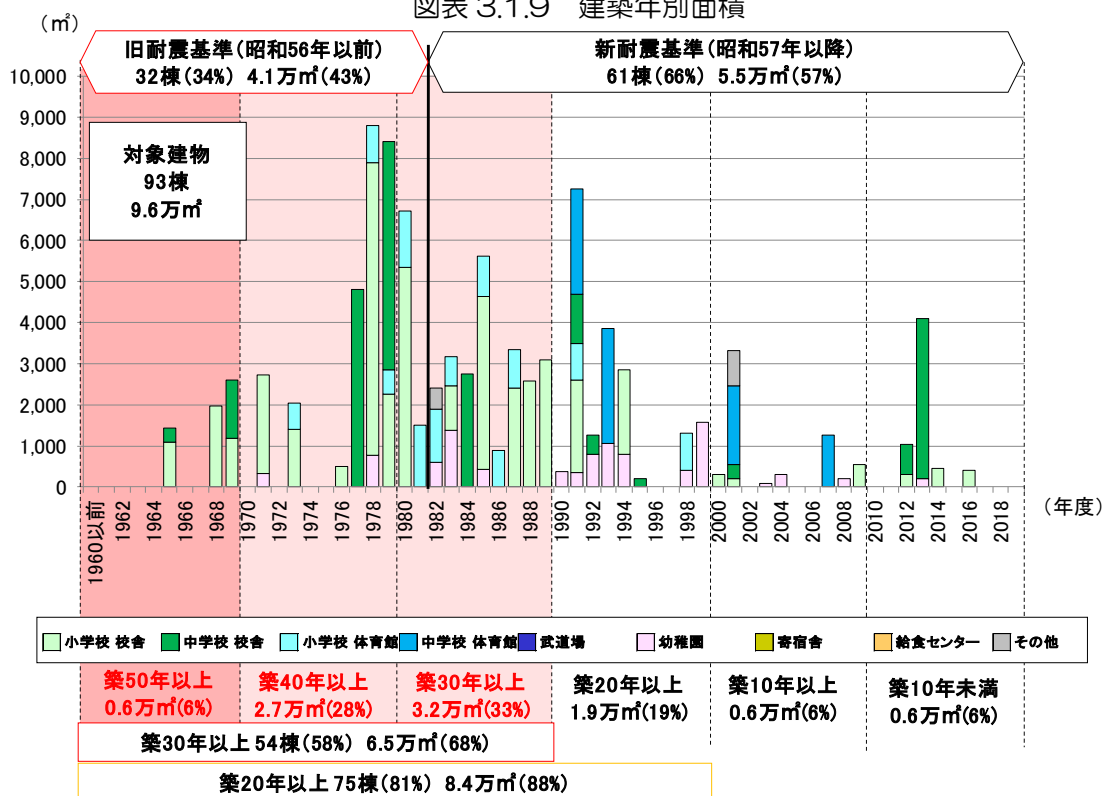
また、小学校、中学校ともに昭和52年（1977年）～昭和55年（1980年）にかけて多く整備されており、現在（2019年）までに築30年以上を経過している、平成元年（1989年）以前に建てられ、建築物（棟）は、面積6.5万㎡（54棟）となっており、全体の約58%を占めています。

新耐震基準（昭和57年（1982年）以降）に建てられた建築物（棟）は、約5.5万㎡で、全体の約57%です。

図表 3.1.8 計画対象棟数、面積

施設区分	計画対象棟数	管理区分による棟数	計画対象面積（㎡）	割合（％）
小学校	88	50	54,784	57.1
中学校	37	18	30,216	31.5
幼稚園	28	23	9,632	10.0
認定こども園	4	2	1,372	1.4
計	157	93	96,004	100

図表 3.1.9 建築年別面積



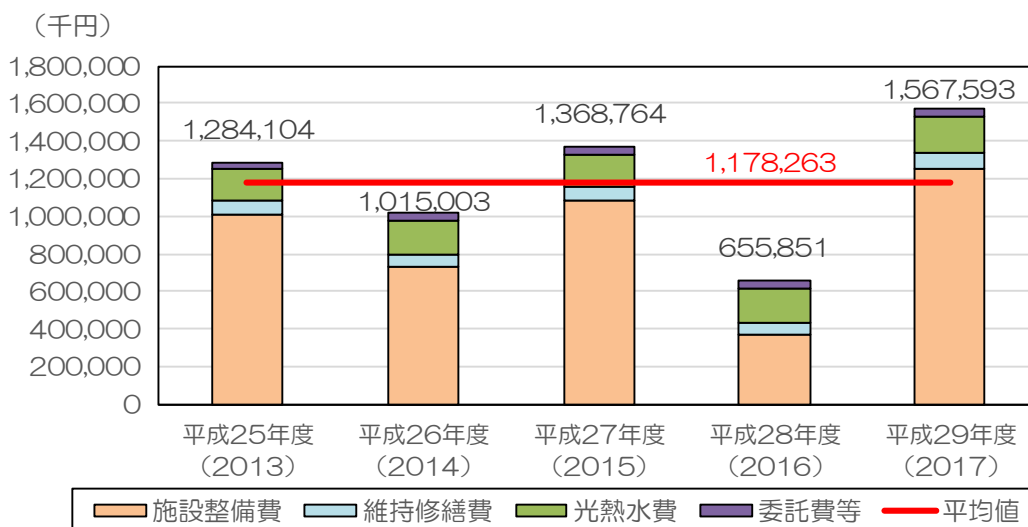
資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月）添付のプログラムを利用して、管理区分に基づき作成

④ 学校施設毎の全体コスト

過去、5年間の施設整備費と施設管理費の合計は、平成28年度（2016年度）を除くと10億円以上となっており、5年間の平均は11.8億円です。

なお、維持修繕費は年間約7,000万円～8,000万円となっており、光熱水費が年間約1億7千万円～1億9千万円、委託費等は年間約3,000万円～4,000万円となっています。

図表 3.1.10 施設関連経費の推移



図表 3.1.11 施設関連経費の内訳

単位：千円

	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平均
施設整備費	1,009,475	731,301	1,083,118	364,570	1,254,049	888,503
維持修繕費	70,778	67,583	70,738	71,288	80,036	72,085
光熱水費	169,556	180,300	176,246	175,888	191,924	178,783
委託費等	34,295	35,819	38,662	44,105	41,584	38,893
合計	1,284,104	1,015,003	1,368,764	655,851	1,567,593	1,178,263

資料：総社市決算資料による

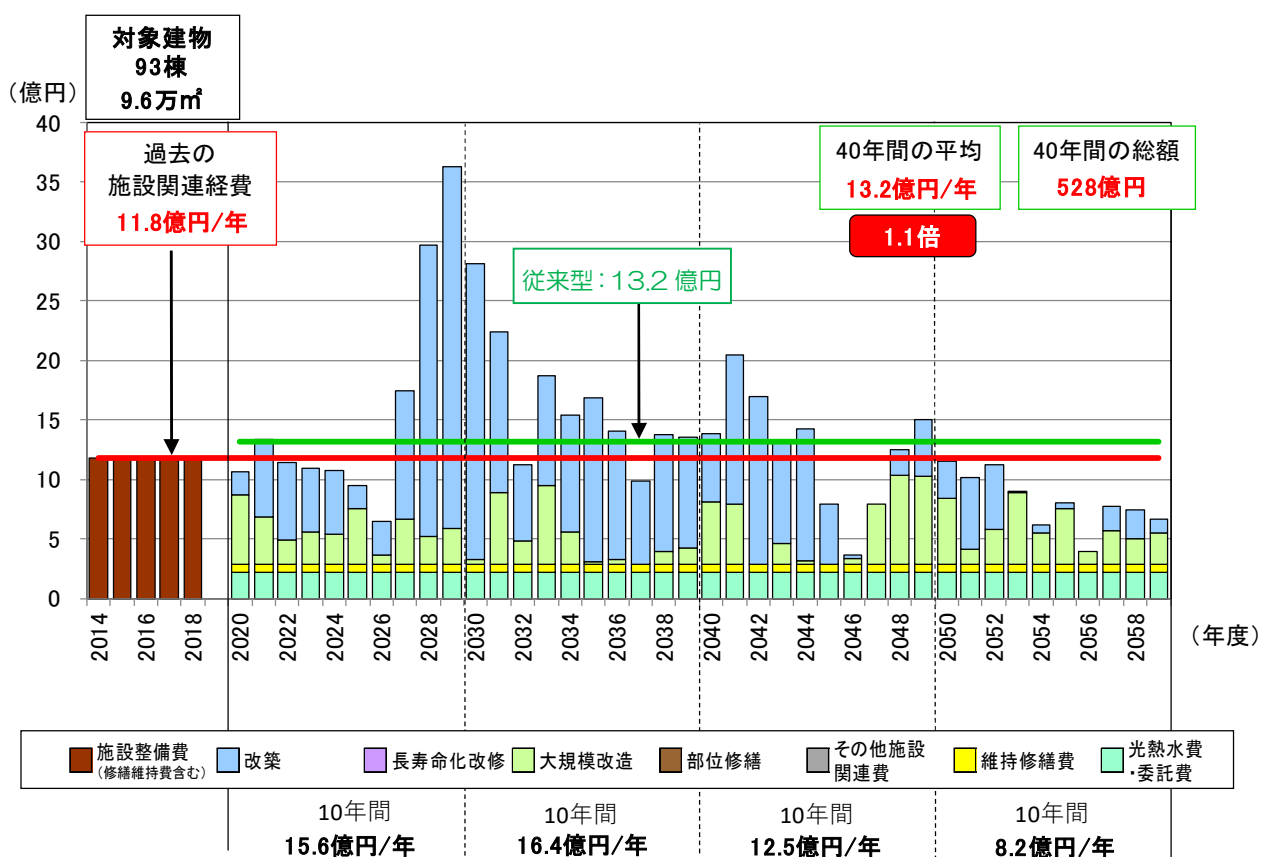
注：平成30年度の数値が確定していないため、平成25年度から平成29年度の数値とした。

⑤ 今後の維持・更新コストの想定（従来型）

令和2年度（2020年度）から令和41年度（2059年度）までの40年間で必要となる維持・更新費用は約528億円となります。改築は、令和9年度（2027年度）から令和13年度（2031年度）頃にかけて多くなっています。

年平均は13.2億円で、先述の直近5年間の施設関連経費の平均値である11.8億円の1.1倍となります。

図表 3.1.12 維持・更新コスト（従来型）



資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月）添付のプログラムを利用して管理区分に基づき作成

注：過去5年間（2014年度～2018年度）の施設関連経費は、平成25年度（2013年度）から平成29年度（2017年度）の平均値を示している。

なお、これらの計算条件は、以下に示すとおりです。

- 改築までの期間：50 年間
注：改築時期を既に経過している場合には、10 年以内に実施。
工事期間は 2 年間
- 大規模改造までの期間：20 年周期
注：工事期間は 1 年間
- 改築単価：330,000 円/m²
注：『地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成 23 年 3 月）における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）費用を参照
- 大規模改造単価：82,500 円/m²
注：改築単価の 25%（『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの初期値）
- 維持修繕費：72,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値を使用
- 光熱水費、委託費等：218,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値（178,783 千円+38,893 千円）を使用

（2）運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題

築 30 年以上を経過している建築物（棟）が全体の約 58%を占めるなど、今後、建替えに伴う更新コストに多額の費用が発生することが予想されます。

今後、本市の人口がゆるやかに減少することが想定される中、児童・生徒数の変動については、地域によって差が生じてくることも考えられ、地域性を考慮した適正な学校施設の規模が求められます。

また、より一層の安全で快適な教育環境の充実や地域の生涯学習、まちづくりの核としての役割を担うことも考えていく必要があります。

3.2 施設の老朽化状況の実態

(1) 点検方法等

建築基準法第 12 条に基づく定期点検（以下「12 条点検」という。）及び躯体以外の老朽化状況調査を実施した結果について整理します。

なお、部位は大きく以下のように分類します。

- 躯体
- 外壁
- 屋根・屋上
- 内部仕上げ

図表 3.2.1 12 条建物点検シート (NO.1)

調査対象施設		調査日		調査担当		写真番号	図面番号
12条建物点検		状況 ※劣化判定 (A→D)→	劣化判定※	調査結果			
調査項目	チェックポイント			指摘なし	要是正	既存不適格	
2 建築物の外部	(1) 基礎	基礎の沈下等の状況					
		(2)	基礎の劣化及び損傷の状況				
	(3) 土台(木造に限る)	土台の沈下等の状況					
		(4)	土台の劣化及び損傷の状況				
	(5) 躯体等	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況(設計図書等で確認)					
		(6)	木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
		(7)	組構造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
		(8)	補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
		(9)	鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
		(10)	鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況				
	(11) 外壁	外装仕上材等	タイル、石貼り等(乾式工法によるものを除く。)モルタル等の劣化及び損傷の状況				
		(12)	乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況				
		(13)	金属系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び損傷の状況				
		(14)	コンクリート系パネル(帳壁を含む。)の劣化及び損傷の状況				
	(15) 窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況					
		(16)	はめ殺し窓のガラスの固定の状況				
	(17) 外壁に緊結された広告板、空調室外機等	機器本体の劣化及び損傷の状況					
		(18)	支持部分等の劣化及び損傷の状況				

図表 3.2.2 12条建物点検シート (NO.2)

調査対象施設			調査日		調査担当		写真番号	図面番号	
12条建物点検			状況 ※劣化判定 (A~D)→	調査結果		要正			既存不適格
調査項目	チェックポイント			劣化判定※	指摘なし				
3 屋上及び屋根	(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況	}	}	}			
	(2)	屋上周り(屋上面を除く)	パラペットの立上り面の劣化及び損傷の状況						
	(3)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況						
	(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況						
	(5)		排水溝(ドレーンを含む。)の劣化及び損傷の状況						屋根・屋上
	(6)		屋根						屋根の防火対策の状況(設計図書等で確認)
	(7)	屋根の劣化及び損傷の状況							
	(8)	機器及び工作物(冷却塔設備、広告塔等)	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況						
	(9)		支持部分等の劣化及び損傷の状況						
4 建築物の内部	(1)	防火区画	令第112条第9項に規定する区画の状況(設計図書で確認)	}	}	}			
	(2)		令第112条第1項から第3項まで又は同条第5項から第8項までの各項に規定する区画の状況(設計図書で確認)						
	(3)		令第112条第12項又は第13項に規定する区画の状況(設計図書で確認)						内部仕上げ
	(4)	防火区画の外周部	令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の設置状況(設計図書で確認)						
	(5)		令第112条第10項に規定する外壁等及び同条第11項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況						
	(6)	躯体等	木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	}	}	}			
	(7)		組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
	(8)		補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
	(9)		鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
	(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
	(11)	壁の室内に面する部分	準耐火性能等の確保の状況(設計図書等で確認)	}	}	}			
	(12)		一時間準耐火基準に適合する準耐火構造の壁、耐火構造の壁又は準耐火構造の壁(防火区画の構成する壁に限る)						
	(13)		鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況						
	(14)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						
	(15)	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況	}	}	}			
	(16)	令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況(設計図書等で確認)						
	(17)	床	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況	}	}	}			
	(18)		鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
	(19)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
	(20)	床	準耐火性能等の確保の状況(設計図書等で確認)	}	}	}			
	(21)		一時間準耐火基準に適合する準耐火構造の床、耐火構造の床又は準耐火構造の床(防火区画を構成する床に限る。)						
	(22)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						

図表 3.2.3 12条建物点検シート (NO.3)

調査対象施設			調査日						
12条建物点検			調査担当						
調査項目	チェックポイント	状況 ※変化判定 (A~D)→	調査結果				写真 番号	図面 番号	
			劣 化 判 定 ※	指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
4 建 築 物 の 内 部	(23)	令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況 (設計図書等で確認)						
	(24)		室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況						
	(25)	特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況						
	(26)	防火設備(防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る)	区画に対応した防火設備の設置の状況						
	(27)		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備におけるくくり戸の設置の状況						
	(28)		昭和48年建設省告示第2563号第1号口に規定する基準への適合の状況(常閉防火扉)						
	(29)		防火扉の開放方向						
	(30)		常閉防火設備の本体と枠の劣化及び損傷の状況						
	(31)		常閉防火設備の閉鎖又は作動の状況						
	(32)		常閉防火設備の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況						
	(33)		常閉防火扉の固定の状況						
	(34)	照明器具、懸垂物等	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況						
	(35)		防火設備の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況						
	(36)	居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況						
	(37)		採光の妨げとなる物品の放置の状況						
	(38)		換気のための開口部の面積の確保の状況						
	(39)		換気設備の設置の状況(設計図書等で確認)						
	(40)		換気設備の作動の状況						
	(41)		換気の妨げとなる物品の放置の状況						
	(42)	石綿等を添加した建築材料	吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超えるもの(以下「吹付け石綿等」という。)の使用の状況						
	(43)		吹付け石綿等の劣化の状況						
	(44)		除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況						
	(45)		囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況						

(2) 評価基準

12 条点検における結果から部位ごとに、劣化状況をA、B、C、Dの4段階で評価することとします。

図表 3.2.4 躯体、屋根・屋上、外壁、内部仕上げにおける評価（目視による）

評価	基準	
A	おおむね良好	良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	
D	早急に対応する必要がある	劣化

資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月 文部科学省）

なお、電気設備、機械設備については、点検（目視）による判断が困難であることから、経過年数を基に評価を行います。

図表 3.2.5 電気設備、機械設備における評価（経過年数による）

評価	基準	
A	経過年数が 10 年未満	良好
B	経過年数が 10 年以上 20 年未満	
C	経過年数が 20 年以上 30 年未満	
D	経過年数が 30 年以上又は経過年数に関わらず著しい劣化事象があり、早急に対応する必要がある	劣化

注：設備関連の交換周期の実績は、最大でおおむね 30 年であることから、30 年以上の場合をDとした。

なお、修繕、改修等の年次が不明の場合は、建築年からの経過年数とする。

AからDまでの評価に応じて、以下のように配点し、老朽化の度合いを点数化します。

図表 3.2.6 躯体、屋根・屋上、外壁、内部仕上げにおける配点

評価	基準	配点
A	おおむね良好	0点
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	20点
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	40点
D	早急に対応する必要がある	80点

図表 3.2.7 電気設備、機械設備における配点

評価	基準	配点
A	経過年数が10年未満	0点
B	経過年数が10年以上20年未満	20点
C	経過年数が20年以上30年未満	40点
D	経過年数が30年以上又は経過年数に関わらず著しい劣化事象があり、早急に対応する必要がある	80点

また、劣化による建物全体への影響度合いなどを考慮して、部位ごとに重要度係数を設定します。

図表 3.2.8 重要度係数

分類・区分	部位	重要度係数
建築	躯体	1.0
	屋根・屋上	1.0
	外壁	1.0
	内部仕上げ	0.25
設備	電気設備、機械設備	0.50

これらの評価点、重要度係数を用いて、施設の老朽化の点数を算出します。

劣化状況の点数＝ Σ （A～D評価による配点（0～80点）×重要度係数（0.25～1.0））
 ※不具合が多いほど、点数が高くなる。不具合が存在しない場合（最高）の合計点は、0点となる。

(3) 評価結果

図表 3.2.9 小学校の評価結果 (NO.1)

施設名	建物名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年月	施設点検結果				修繕履歴	
						躯体	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
総社中央小学校	校舎1	RC	3	1,413	1981年2月	B	D	B	B	B	B
	校舎2	RC	3	2,371	1981年2月	B	A	A	B	A	A
	体育館	S	2	800	1981年2月	B	A	A	B	D	D
総社北小学校	校舎1	RC	3	4,194	1985年8月	B	B	C	B	A	A
	体育館	RC	2	991	1985年12月	B	D	A	B	D	D
	校舎1	RC	2	1,334	1968年12月	B	C	A	B	A	A
常盤小学校	校舎2	RC	3	706	1979年3月	A	C	A	A	D	D
	体育館	S	2	801	1982年2月	A	A	A	A	D	D
	校舎3	RC	3	1,083	1984年2月	A	C	B	B	B	B
	校舎4	RC	3	1,794	1990年3月	A	C	A	B	C	C
	校舎5	RC	2	539	2010年3月	A	A	A	A	A	A
	校舎6	S	2	406	2017年3月	A	A	A	A	A	A
総社東小学校	校舎1	RC	2	1,300	1972年3月	C	B	B	B	A	A
	校舎2	RC	2	1,410	1973年5月	A	A	B	B	A	A
	体育館	S	2	621	1974年3月	C	A	A	A	D	D
	校舎3	RC	2	214	2002年1月	A	A	A	A	B	B
阿曽小学校	校舎4	S	2	314	2012年10月	A	A	A	A	A	A
	校舎1	RC	3	1,129	1980年1月	A	B	A	B	B	B
	体育館	S	2	901	1987年3月	B	A	B	B	D	D
	校舎2	RC	3	1,308	1990年3月	A	B	B	B	A	A
池田小学校	校舎1	RC	3	1,174	1969年12月	A	A	A	B	A	A
	校舎2	RC	3	882	1981年3月	B	A	B	B	A	A
	体育館	S	2	930	1988年3月	A	A	B	B	D	D
秦小学校	校舎1	RC	3	1,833	1979年2月	B	B	B	C	A	A
	体育館	S	2	558	1980年5月	A	A	A	A	D	D

注：建物管理区分に基づく一つのまとまった建築物として整理している。

なお、施設点検結果及び修繕履歴における評価は、最大の面積の棟を表現している。設備の修繕履歴は、空調整備の履歴を参照している。構造は、最大の面積の棟としている。階数は、最大の棟としている。建築年月は、最も古い棟の建築年月としている。面積は、棟の合計としている。

図表 3.2.10 小学校の評価結果 (NO.2)

施設名	建物名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年月	施設点検結果				修繕履歴	
						躯体	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
神在小学校	校舎1	RC	3	1,139	1980年1月	B	B	B	B	D	D
	体育館	S	2	585	1979年12月	A	A	A	A	D	D
	校舎2	RC	2	1,108	1988年2月	A	D	B	B	A	A
総社西小学校	校舎3	RC	2	305	2001年3月	A	A	A	A	B	B
	校舎1	RC	2	1,077	1966年2月	B	B	B	A	A	A
	校舎2	RC	2	495	1976年12月	B	A	A	B	D	D
	体育館	S	2	699	1982年2月	B	A	B	B	D	D
	校舎3	RC	2	1,668	1994年8月	A	A	A	A	C	C
	校舎1	RC	2	690	1981年2月	B	D	B	A	D	D
新本小学校	体育館	S	2	716	1984年2月	A	A	B	B	D	D
	校舎2	RC	3	1,306	1988年2月	B	B	B	B	A	A
	校舎1	RC	2	1,235	1989年3月	B	A	B	B	B	B
昭和小学校	校舎2	RC	2	1,355	1989年3月	A	A	B	B	A	A
	体育館	S	3	907	1999年3月	A	A	A	B	C	C
	校舎1	RC	3	2,251	1991年6月	B	B	B	B	A	A
維新小学校	体育館	S	2	873	1992年3月	A	A	A	B	C	C
	校舎1	RC	3	1,603	1978年4月	A	B	B	B	A	A
	体育館	S	2	895	1978年4月	A	A	A	A	D	D
山手小学校	校舎2	RC	2	1,366	1979年2月	A	A	B	B	B	B
	校舎3	S	2	381	1995年2月	B	A	A	A	C	C
	校舎4	S	2	452	2015年2月	A	A	A	A	A	A
	校舎1	RC	2	643	1968年12月	A	A	B	C	D	D
清音小学校	校舎2	RC	2	1,100	1971年12月	A	A	A	A	A	A
	校舎3	RC	3	1,626	1978年12月	A	A	B	A	D	D
	体育館	S	2	1,303	1983年2月	A	A	A	B	D	D

注：建物管理区分に基づく一つのまとまった建築物として整理している。

なお、施設点検結果及び修繕履歴における評価は、最大の面積の棟を表現している。設備の修繕履歴は、空調整備の履歴を参照している。

構造は、最大の面積の棟としている。階数は、最大の棟としている。建築年月は、最も古い棟の建築年月としている。面積は、棟の合計としている。

図表 3.2.11 中学校の評価結果

施設名	建物名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年月	施設点検結果				修繕履歴	
						躯体	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
縹社東中学校	校舎1	RC	4	5,551	1979年10月	A	B	B	B	A	A
	校舎2	RC	2	458	1992年12月	A	A	B	A	A	A
	体育館他	RC	2	2,790	1994年3月	B	A	A	A	C	C
	校舎3	S	2	442	2013年9月	A	A	A	B	A	A
	校舎1	RC	4	4,818	1978年3月	B	B	A	B	A	A
縹社西中学校	校舎2	RC	4	1,734	1985年3月	B	B	A	A	D	D
	体育館他	RC	2	2,563	1991年7月	A	A	A	B	C	C
	校舎3	RC	4	717	2013年3月	A	A	A	A	A	A
	校舎1	RC	3	633	1985年3月	B	D	B	A	B	B
	校舎2	RC	2	378	1985年3月	A	A	A	A	D	D
縹社中学校	校舎3	RC	1	324	2001年7月	A	A	B	B	B	B
	体育館他	RC	2	1,917	2001年7月	A	A	A	A	B	B
	校舎4	RC	2	199	1995年12月	A	A	A	A	C	C
	校舎5	RC	4	3,453	2013年7月	A	A	A	B	A	A
	校舎1	RC	4	1,427	1970年3月	B	B	B	B	A	A
昭和中学校	校舎2	S	1	357	1966年1月	A	A	A	A	D	D
	校舎3	RC	4	1,202	1992年3月	B	A	A	A	C	C
	体育館	RC	1	1,253	2007年6月		A	A	A	B	B

注：建物管理区分に基づき一つのまとまった建築物として整理している。

なお、施設点検結果及び修繕履歴における評価は、最大の面積の棟を表現している。設備の修繕履歴は、空調整備の履歴を参照している。

構造は、最大の面積の棟としている。階数は、最大の棟としている。建築年月は、最も古い棟の建築年月としている。面積は、棟の合計としている。

図表 3.2.12 幼稚園の評価結果

施設名	建物名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年月	施設点検結果				修繕履歴	
						躯体	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
総社幼稚園	園舎1	RC	2	739	1984年2月	B	B	A	B	A	A
	園舎2	RC	2	204	2005年3月	B	B	A	A	A	A
総社南幼稚園	園舎1	RC	2	763	1978年9月	B	B	A	B	A	A
総社北幼稚園	園舎1	RC	2	598	1983年3月	B	B	B	B	A	A
常盤幼稚園	園舎1	RC	2	1,576	2000年3月	B	A	A	B	A	A
	園舎2	RC	1	208	2009年3月	A	A	A	A	A	A
三須幼稚園	園舎1	S	1	381	1991年1月	B	B	B	B	A	A
	園舎1	S	1	393	1993年2月	B	A	B	A	A	A
服部幼稚園	園舎2	S	1	88	2004年12月	A	A	A	A	A	A
	園舎1	RC	1	100	1986年3月	B	A	B	A	D	D
阿曾幼稚園	園舎2	RC	1	334	1986年3月	A	A	B	A	A	A
	園舎1	S	1	346	1995年2月	B	B	B	B	A	A
池田幼稚園	園舎1	S	1	409	1994年2月	B	B	B	A	A	A
	園舎2	S	1	74	2003年12月	A	A	B	A	B	B
神在幼稚園	園舎1	S	1	446	1995年2月	A	B	B	B	A	A
	園舎1	S	1	489	1994年2月	A	B	B	B	A	A
久代幼稚園	園舎2	S	1	167	1994年2月	A	A	A	A	C	C
	園舎1	S	1	363	1992年1月	B	B	A	B	A	A
新本幼稚園	園舎1	S	1	397	1993年2月	A	B	A	A	A	A
昭和幼稚園	園舎1	RC	1	391	1999年3月	B	B	B	B	A	A
	園舎1	S	1	331	1971年12月	B	B	A	B	A	A
山手幼稚園	園舎1	RC	2	637	1984年3月	B	A	B	B	A	A
	園舎2	RC	1	198	2014年1月	A	A	A	B	A	A

注：建物管理区分に基づく一つのまとまった建築物として整理している。

なお、施設点検結果及び修繕履歴における評価は、最大の面積の棟を表現している。設備の修繕履歴は、空調整備の履歴を参照している。構造は、最大の面積の棟としている。階数は、最大の棟としている。建築年月は、最も古い棟の建築年月としている。面積は、棟の合計としている。

図表 3.2.13 認定こども園の評価

施設名	建物名	構造	階数	面積 (㎡)	建築年月	施設点検結果			修繕履歴		
						躯体	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備
さよね認定こども園	園舎1	W	1	864	2002年3月	A	A	A	B	A	A
	園舎2	RC	1	508	1982年4月	B	B	B	A	A	A

注：建物管理区分に基づき一つのまとまった建築物として整理している。

なお、施設点検結果及び修繕履歴における評価は、最大の面積の棟を表現している。設備の修繕履歴は、空調整備の履歴を参照している。構造は、最大の面積の棟としている。階数は、最大の棟としている。建築年月は、最も古い棟の建築年月としている。面積は、棟の合計としている。

(4) 長寿命化対象建築物の判定

長寿命化に対する予防保全を実施した場合でも、鉄筋コンクリートの劣化の程度によっては、費用を投じて長寿命化を実施しても費用対効果が小さいと考えられます。

このため、一般的には、コンクリートの強度が不足している建築物、基礎における鉄筋の腐食が見られる建築物、地すべりやがけ崩れ等の立地安全性の欠如などが考えられる建築物などは、長寿命化に不適と考えられます。

また、『学校施設の長寿命化計画策定に係る手引』（平成 27 年 4 月）によると、長寿命化計画の策定に当たっては、「コンクリートの中性化深さ試験」と「コンクリート強度の調査」の結果を参考とすることが有効とされています。

【長寿命化に適さない施設】

- ・鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築の方が経済的に望ましい施設
- ・コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね 13.5N/m²以下）
- ・基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- ・校地環境の安全性が欠如している施設
- ・建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設
- ・学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設

資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る手引』（平成 27 年 4 月）

ここで、本計画では、コンクリートの圧縮強度がおおむね 13.5N/m² 未満の建築物は、長寿命化に不適と考えます。

また、コンクリートの中性化深さについては、鉄筋の最小かぶり厚さを考慮し、中性化深さが 30mm以上の建築物は、長寿命化に不適と考えます。

図表 3.2.14 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種類			最小かぶり厚さ	
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
		仕上げなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
擁壁、耐圧スラブ			40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		*40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		*60	
煙突等高熱を受ける部分			60	

(注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。

2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。

3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。

4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。

5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

資料：『公共建築工事標準仕様書（建築工事編）』（平成 28 年版）

さらには、経過年数により算出される中性化深さと比べて、実際の中性化深さが大きい場合にも中性化が進行していると考えられることから、長寿命化に不適とします。

【中性化の理論式】

中性化は、大気中の二酸化炭素がコンクリート中に侵入していき、セメントが水と反応してできた水酸化カルシウムと反応して炭酸カルシウムとなり、表面化部分から、コンクリートをアルカリ性から中性に変えていく現象です。

中性化の理論式は、以下のとおりです。

$$C = \sqrt{t/7.2} \dots \dots \dots \text{中性化理論式 (浜田式)}$$

C：中性化深さ (cm)

t：経過年数

本市において、平成 22 年 (2010 年) から平成 24 年 (2012 年) にかけて実施した耐震診断の結果によると、コンクリートの圧縮強度がおおむね 13.5 N/m^2 以下となっている建築物は、総社西小学校 (6-1 教室棟、1966 年建設) で、 11.5 N/m^2 となっています。

※総社中学校の普通教室棟 1-1、普通教室棟 1-3 については、現在、取り壊されています。

また、中性化深さ (平均値) が 30mm を超える建築物は、神在小学校 (13 屋内運動場、1979 年建設) で、40.4mm となっています。

一方、理論式から算出した中性化深さの数値と比べて、大きな数値を示す建築物については、山手小学校 (1-1 教室棟、1978 年建設)、山手小学校 (2 屋体棟、1978 年建設)、総社東中学校 (27-1 教室棟、1979 年建設) です。

ここで、これらの建築物については、長寿命化の対象外とします。

図表 3.2.15 コンクリートの圧縮強度、中性化深さ

施設名称	棟名称	建築年月	コンクリート圧縮強度 (N/mm ²)	中性化深さ (mm)	中性化深さ理論式		長寿命化 評価結果
					診断年	(mm)	
総社中央小学校	4棟	1981年2月	2F : 19.6	10.8	2012年	20.7	○
	5棟	1981年2月	2F : 15.7	12.0	2012年	20.7	○
	6棟	1981年2月	1F : 17.5	9.3	2012年	20.7	○
	8棟 (屋内運動場)	1981年2月	1F : 20.6	19.0	2012年	20.7	○
常盤小学校	18棟	1979年3月	1F : 21.7	10.2	2012年	21.4	○
総社東小学校	3棟 (屋内運動場)	1974年3月	1F : 19.6	18.0	2012年	23.0	○
	管理・特別教室棟②	1973年5月	1F、2F : 22.0	15.65	2012年	23.3	○
	普通教室棟①	1972年3月	1F、2F : 22.0	5.6	2012年	23.6	○
阿曾小学校	13棟	1980年1月	1F : 17.3	1.97	2012年	21.1	○
池田小学校	3-1棟	1969年12月	1F : 20.6	6.55	2012年	24.4	○
	3-2棟	1971年3月			2012年	23.9	○
	7棟	1981年3月	1F、2F、3F : 25.7	0.712	2012年	20.7	○
秦小学校	13棟	1979年2月	2F : 20.6	3F : 2.8	2012年	21.4	○
	14棟	1980年5月	1F : 22.0	13.96	2012年	21.1	○
神在小学校	12棟	1980年1月	1F、2F、3F : 25.7	1F : 10.8	2012年	21.1	○
	13棟	1979年12月	1F : 21.4	40.4	2012年	21.4	×
総社西小学校	6-1棟	1966年2月	1F : 11.5	12.8	2012年	25.3	×
	6-2棟	1967年1月	2F : 16.2		2012年	25.0	○
	11棟	1976年12月	1F : 21.9	5.02	2012年	22.4	○
	14棟	1980年1月	2F : 19.1	5.13	2012年	21.1	○
新本小学校	15棟	1981年2月	1F、2F : 25.7	2.87	2012年	20.7	○
山手小学校	1-1棟	1978年4月	1F : 24.4	1F : 24.8	2012年	21.7	×
	1-2棟	1978年7月	1F、2F、3F : 25.7	1F : 3.2	2012年	21.7	○
	2棟 (体育館)	1978年4月	1F : 25.7	23.7	2012年	21.7	×
	3-1棟	1979年2月	2F : 22.9	2F : 13.6	2012年	21.4	○
清音小学校	⑭-1	1978年12月	1F、2F、3F : 20.6	7.6	2012年	21.7	○
	23棟	1980年12月	1F、2F、3F : 20.6	1.9	2012年	21.1	○
総社東中学校	27-1棟	1979年10月	3F : 20.6	2F : 22.1	2012年	21.4	×
総社西中学校	教室棟29-1	1978年3月	1F、4F : 20.6	4	2011年	21.4	○
	教室棟29-2	1978年5月			2011年	21.4	○
	32-1、32-2	1979年12月	1F : 17.2	5	2011年	21.1	○
総社中学校	普通教室棟1-1	1962年	2F : 12.3	—	2010年	25.8	取り壊し
	普通教室棟1-3	1963年	3F : 11.5	—	2010年	25.5	取り壊し
総社南幼稚園	3-1教室棟	1978年9月	1F、2F : 20.6	12.7	2012年	21.7	○
維新幼稚園	①管理保育室棟	1971年12月	1F : 20.6	0	2012年	23.9	○

注：コンクリート圧縮強度は、診断時強度による。なお、階数によって数値が異なる場合には、小さい数値を記載している。

コンクリート中性化深さは、複数箇所試験を実施している場合には、平均値の大きい箇所の数値を記載している。

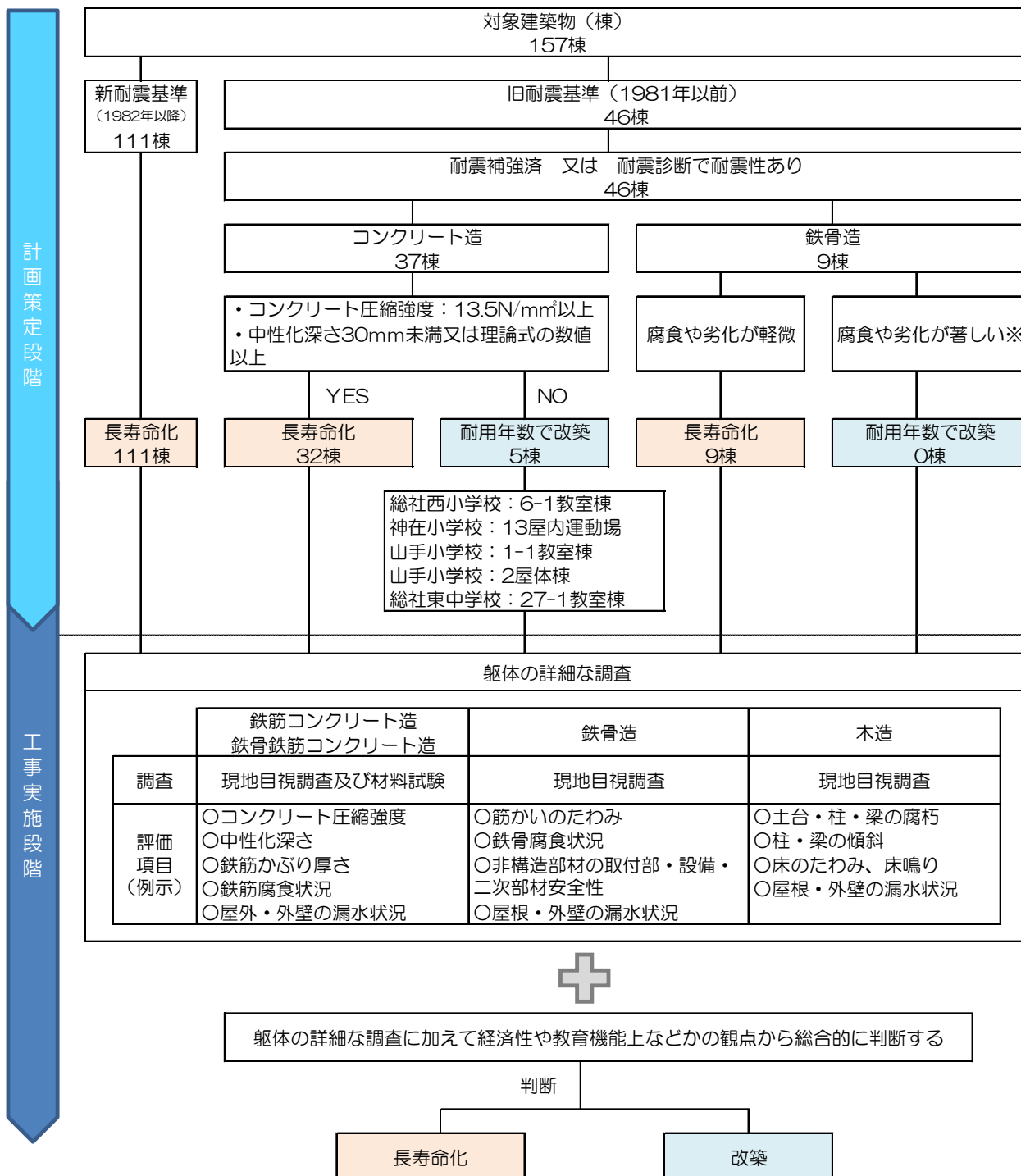
中性化深さの理論式の数値は、診断年における数値である。

総社東小学校の普通教室棟①は、①-1として取り扱っている。

現在、総社中学校の普通教室棟1-1、普通教室棟1-1は、取り壊しされている。

長寿命化の判定フローに基づき、長寿命化を実施する建築物は 152 棟となります。
 なお、工事実施段階においては、建築物の構造別に現地目視調査や材料試験等を実施し、それらの結果から総合的に判断して、長寿命化に向けた対策を実施します。

図表 3.2.16 長寿命化の判定フロー



資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月）を一部加筆

注：構造は、学校施設台帳に基づくものである。

コンクリート強度及び中性化深さの試験、施設の老朽化調査が、1棟ごとの試験・調査であるため、管理区分による棟数ではなく、全棟数で表示している。

鉄骨造における「腐食や劣化が著しい」※については、施設点検調査に基づく建築評価結果がDとなったものとする。

管理区分に基づく一体的な建築物（棟）として扱う長寿命化の対象となる建築物は以下のとおりです。

図表 3.2.17 小学校の長寿命化対象建築物（NO.1）

学校名	棟番号	枝番号	棟名（室名）	構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	管理区分 名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断
									構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	築年数	
総社中央小学校	4		管理教室棟	R	3	1981年2月	1,413	校舎1	R	3	1981年2月	1,413	38	長寿命化対象建築物
	5		特別教室棟	R	3	1981年2月	413	校舎2	R	3	1981年2月	2,371	38	長寿命化対象建築物
	6		普通教室棟	R	3	1981年2月	1,958							
	8		屋内運動場	S	2	1981年2月	800	体育館	S	2	1981年2月	800	38	長寿命化対象建築物
総社北小学校	1	1	管理教室棟	R	3	1985年8月	2,432	校舎1	R	3	1985年8月	4,194	33	長寿命化対象建築物
	2		管理棟	R	3	1985年8月	722							
	3		特別教室棟	R	3	1985年8月	1,040							
	9		屋内運動場	R	2	1985年12月	882	体育館	R	2	1985年12月	991	33	長寿命化対象建築物
	10		クラブハウス	R	2	1985年12月	109							
常盤小学校	10		教室棟	R	2	1968年12月	259	校舎1	R	2	1968年12月	1,334	50	長寿命化対象建築物
	29		教室棟	R	2	1971年12月	693							
	30		教室棟	R	2	1974年12月	382							
	18		教室棟	R	3	1979年3月	652	校舎2	R	3	1979年3月	706	40	長寿命化対象建築物
	35		便所棟	R	3	1979年3月	54							
	20		屋内運動場	S	2	1982年2月	801	体育館	S	2	1982年2月	801	37	長寿命化対象建築物
	21		特別教室棟	R	3	1984年2月	1,083	校舎3	R	3	1984年2月	1,083	35	長寿命化対象建築物
	22		管理普通教室棟	R	3	1990年3月	1,495	校舎4	R	3	1990年3月	1,794	29	長寿命化対象建築物
	31		教室棟	R	1	1990年3月	270							
	32		管理棟	R	1	1990年3月	29							
	33		教室棟	R	2	2010年3月	539	校舎5	R	2	2010年3月	539	9	長寿命化対象建築物
	36		教室棟	S	2	2017年3月	406	校舎6	S	2	2017年3月	406	2	長寿命化対象建築物
総社東小学校	1	1	普通・特別教室棟	R	2	1972年3月	994	校舎1	R	2	1972年3月	1,300	47	長寿命化対象建築物
	1	2	普通教室	R	2	1973年5月	286							
	21		便所	S	2	2013年11月	20							
	2		管理・特別教室棟	R	2	1973年5月	1,355	校舎2	R	2	1973年5月	1,410	45	長寿命化対象建築物
	13		放送室	R	1	1988年9月	33							
	19		給食コンテナ室	S	1	2005年10月	22	体育館	S	2	1974年3月	621	45	長寿命化対象建築物
	3		屋内運動場	S	2	1974年3月	621							
	18		普通教室	R	2	2002年1月	214							
20		普通教室棟	S	2	2012年10月	314	校舎4	S	2	2012年10月	314	6	長寿命化対象建築物	

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大ののものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

図表 3.2.18 小学校の長寿命化対象建築物 (NO.2)

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	管理区分 名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断	
									構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	築年数		
阿曾小学校	13		管理教室棟	R	3	1980年1月	1,083	校舎1	R	3	1980年1月	1,129	39	長寿命化対象建築物	
	18		玄関・スタジオ	R	1	1990年3月	46								
	15		屋内運動場	S	2	1987年3月	901	体育館	S	2	1987年3月	901	32		
	17		普通教室棟	R	3	1990年3月	1,308	校舎2	R	3	1990年3月	1,308	29		
池田小学校	3	1	管理教室棟	R	3	1969年12月	806	校舎1	R	3	1969年12月	1,174	49	長寿命化対象建築物	
	3	2	—	R	2	1971年3月	81								
	3	3	—	R	1	1993年9月	42								
	15		—	S	1	1993年9月	24								
	16		—	S	1	1993年9月	24								
	17		便所・ミーティング棟	R	3	2016年8月	76								
	18		図書室・昇降口	S	1	2016年8月	121	校舎2	R	3	1981年3月	882	38		
	7		教室棟	R	3	1981年3月	882								
	11		屋内運動場	S	2	1988年3月	847								体育館
秦小学校	12		渡り廊下	S	2	1988年3月	83	校舎1	R	3	1979年2月	1,833	40	長寿命化対象建築物	
	13		管理・教室棟	R	3	1979年2月	1,833								
神在小学校	14		屋内運動場	S	2	1980年5月	558	体育館	S	2	1980年5月	558	38	長寿命化対象建築物	
	12		管理特別教室棟	R	3	1980年1月	1,139	校舎1	R	3	1980年1月	1,139	39	長寿命化対象建築物	
	13		屋内運動場	S	2	1979年12月	585	体育館	S	2	1979年12月	585	39	長寿命化対象外建築物	
	15	1	普通教室棟	R	2	1988年2月	891	校舎2	R	2	1988年2月	1,108	31	長寿命化対象建築物	
	15	2	保健室	R	2	1992年8月	105								
	15	3	給食コンテナ室	R	1	2001年3月	112								
19		特別教室棟	R	2	2001年3月	305	校舎3	R	2	2001年3月	305	18	長寿命化対象建築物		
総社西小学校	6	1	教室棟	R	2	1966年2月	903	校舎1	R	2	1966年2月	1,077	53		長寿命化対象外建築物
	6	2	教室棟	R	2	1967年1月	174								
	11	1	教室棟	R	2	1976年12月	269	校舎2	R	2	1976年12月	495	42	長寿命化対象建築物	
	14		教室棟	R	2	1980年1月	226	体育館	S	2	1982年2月	699	37	長寿命化対象建築物	
	15		屋内運動場	S	2	1982年2月	699								
	23		管理教室棟	R	2	1994年8月	1,668								
新本小学校	15		特別教室棟	R	2	1981年2月	690	校舎1	R	2	1981年2月	690	38		長寿命化対象建築物
	18		屋内運動場	S	2	1984年2月	689	体育館	S	2	1984年2月	716	35		長寿命化対象建築物
	20		倉庫	S	1	1987年3月	27								
	21	1	管理普通教室棟	R	3	1988年2月	1,229	校舎2	R	3	1988年2月	1,306	31		
	21	2	管理普通教室棟	R	3	2002年11月	41								
	23		図書室	R	1	2002年11月	36								
20		給食・コンテナ室	S	1	1999年3月	16									
昭和小学校	19		管理特別棟	R	2	1989年3月	1,235	校舎1	R	2	1989年3月	1,235	30	長寿命化対象建築物	
	20	1	普通教室棟	R	2	1989年3月	1,339	校舎2	R	2	1989年3月	1,355	30	長寿命化対象建築物	
	20	2	給食・コンテナ室	S	1	1999年3月	16								
	22		屋内運動場	S	3	1999年3月	907	体育館	S	3	1999年3月	907	20		

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大のものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

図表 3.2.19 小学校の長寿命化対象建築物 (NO.3)

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	管理区分 名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断
									構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	築年数	
維新小学校	11	1	教室棟	R	3	1991年6月	2,097	校舎1	R	3	1991年6月	2,251	27	長寿命化対象建築物
	11	2	ミーティングルーム	R	1	1991年6月	154							長寿命化対象建築物
	12		屋内運動場	S	2	1992年3月	873	体育館	S	2	1992年3月	873	27	長寿命化対象建築物
山手小学校	1	1	教室棟	R	3	1978年4月	1,403	校舎1	R	3	1978年4月	1,603	41	長寿命化対象外建築物
	1	2	教室棟	R	3	1978年7月	200							長寿命化対象外建築物
	2		屋体棟	S	2	1978年4月	895	体育館	S	2	1978年4月	895	41	長寿命化対象外建築物
	3	1	管理棟	R	2	1979年2月	1,162	校舎2	R	2	1979年2月	1,366	40	長寿命化対象建築物
	3	2	階段室	R	2	2002年2月	12							長寿命化対象建築物
	12		教室棟	R	2	2002年2月	192							長寿命化対象建築物
	9		給食棟	S	2	1995年2月	381	校舎3	S	2	1995年2月	381	24	長寿命化対象建築物
	13		教室棟	S	2	2015年2月	452	校舎4	S	2	2015年2月	452	4	長寿命化対象建築物
清音小学校	7	1	管理・普通教室棟	R	2	1968年12月	571	校舎1	R	2	1968年12月	643	50	長寿命化対象建築物
	7	2	便所	R	1	1986年12月	7							長寿命化対象建築物
	22		更衣室	S	1	2002年9月	65							長寿命化対象建築物
	9	1	教室棟	R	2	1971年12月	642	校舎2	R	2	1971年12月	1,100	47	長寿命化対象建築物
	9	2	階段	S	2	1971年12月	135							長寿命化対象建築物
	9	3	教室棟	R	2	1977年12月	323	校舎3	R	3	1978年12月	1,626	40	長寿命化対象建築物
	14	1	普通・特別教室棟	R	3	1978年12月	719							長寿命化対象建築物
	23		図工室	R	3	1980年12月	907							長寿命化対象建築物
16		屋内運動場	S	2	1983年2月	1,303	体育館	S	2	1983年2月	1,303	36	長寿命化対象建築物	

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大ののものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

図表 3.2.20 中学校の長寿命化対象建築物

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	管理区分 名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断							
									構造区分	階数	建築年月	面積 (㎡)	築年数								
総社東中学校	27	1	教室棟	R	4	1979年10月	3,565	校舎1	R	4	1979年10月	5,551	39	長寿命化対象外建築物							
	27	3	教室棟	S	2	2016年2月	171														
	41		教室棟	R	4	1984年3月	1,815														
	総社東中学校	38		教室棟	R	2	1992年12月	439	校舎2	R	2	1992年12月	458	26	長寿命化対象建築物						
		40		教室棟	S	1	2000年3月	19													
		39	1	屋内運動場	R	2	1994年3月	1,627	体育館他	R	2	1994年3月	2,790	25	長寿命化対象建築物						
		39	2	クラブハウス	R	2	1994年3月	183													
		39	3	部室	R	2	1994年3月	471													
		39	4	格技場	R	2	1994年3月	509													
総社西中学校		42		教室棟	S	2	2013年9月	442	校舎3	S	2	2013年9月	442	5	長寿命化対象建築物						
		校舎1	29	1	教室棟	R	4	1978年3月	1,562	R	4	1978年3月	4,818	41	長寿命化対象建築物						
			29	2	教室棟	R	4	1978年5月	1,164												
	32		1	教室棟	R	4	1979年12月	960													
	32		2	教室棟	R	4	1979年12月	1,132													
	校舎2	38	1	普通教室・特別教室	R	4	1985年3月	1,686	R	4	1985年3月	1,734	34	長寿命化対象建築物							
		48		エレベーター棟	R	4	2013年3月	48													
		体育館他	44	1	屋内運動場	R	2	1991年7月							1,294	R	2	1991年7月	2,563	27	長寿命化対象建築物
			44	2	クラブハウス	R	2	1991年7月							310						
44			3	部室	R	2	1991年7月	471													
44	4	格技場	R	2	1991年7月	488															
47		教室棟	R	4	2013年3月	717	校舎3	R	4	2013年3月	717	6	長寿命化対象建築物								
総社中学校	18		特別教室棟	R	3	1985年3月	633	校舎1	R	3	1985年3月	633	34	長寿命化対象建築物							
	19		特別教室棟	R	2	1985年3月	378	校舎2	R	2	1985年3月	378	34	長寿命化対象建築物							
	24		技術室	R	1	2001年7月	324	校舎3	R	1	2001年7月	324	17	長寿命化対象建築物							
	体育館他	25		屋内運動場	R	2	2001年7月	1,495	R	2	2001年7月	1,917	17	長寿命化対象建築物							
		26		地域連携分	R	2	2001年7月	422													
	29		教室棟	R	2	1995年12月	199	校舎4	R	2	1995年12月	199	23	長寿命化対象建築物							
	校舎5	31		多目的ホール	R	1	2013年7月	104	R	4	2013年7月	3,453	5	長寿命化対象建築物							
		32		管理・教室棟	R	4	2013年7月	3,349													
昭和中学校	1	1	管理教室棟	R	4	1970年3月	1,414	校舎1	R	4	1970年3月	1,427	49	長寿命化対象建築物							
	1	2	管理教室棟	R	1	1988年10月	13														
	校舎2	3	1	特別教室	S	1	1966年1月	165	S	1	1966年1月	357	53	長寿命化対象建築物							
		3	2	特別教室	S	1	1964年1月	192													
	校舎3	15	1	特別教室棟	R	4	1992年3月	735	R	4	1992年3月	1,202	27	長寿命化対象建築物							
		15	2	部室	R	1	1992年3月	193													
		15	3	武道場	R	2	1992年3月	274													
		16		屋内運動場	R	1	2007年6月	1,253													
体育館	R	1	2007年6月	1,253	11	長寿命化対象建築物															

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大ののものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

図表 3.2.21 幼稚園の長寿命化対象建築物

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	面積(m ²)	管理区分名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断
									構造区分	階数	建築年月	面積(m ²)	築年数	
総社幼稚園	13	1	教室棟	R	2	1984年2月	640	園舎1	R	2	1984年2月	739	35	長寿命化対象建築物
	13	2	管理棟	R	2	1990年3月	63							
	15		教室棟	S	1	1994年3月	36	園舎2	R	2	2005年3月	204	14	
	16		教室棟	R	2	2005年3月	204							
総社南幼稚園	3	1	教室棟	R	2	1978年9月	543	園舎1	R	2	1978年9月	763	40	長寿命化対象建築物
	3	2	教室棟	R	2	2004年1月	3							
	7		教室棟	R	2	2004年1月	217							
総社北幼稚園	1		管理教室棟	R	2	1983年3月	598	園舎1	R	2	1983年3月	598	36	長寿命化対象建築物
常盤幼稚園	11		教室棟	R	2	2000年3月	1,576	園舎1	R	2	2000年3月	1,576	19	長寿命化対象建築物
	14		教室棟	R	1	2009年3月	208	園舎2	R	1	2009年3月	208	10	長寿命化対象建築物
三須幼稚園	8		管理教室棟	S	1	1991年1月	381	園舎1	S	1	1991年1月	381	28	長寿命化対象建築物
服部幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	393	園舎1	S	1	1993年2月	393	26	長寿命化対象建築物
	4		教室棟	S	1	2004年12月	88	園舎2	S	1	2004年12月	88	14	長寿命化対象建築物
阿曾幼稚園	1		遊戯室棟	R	1	1986年3月	100	園舎1	R	1	1986年3月	100	33	長寿命化対象建築物
	2		教室棟	R	1	1986年3月	204	園舎2	R	1	1986年3月	334	33	長寿命化対象建築物
	3		管理棟	R	1	1986年3月	130							
池田幼稚園	4		教室棟	S	1	1995年2月	346	園舎1	S	1	1995年2月	346	24	長寿命化対象建築物
秦幼稚園	3		教室棟	S	1	1994年2月	409	園舎1	S	1	1994年2月	409	25	長寿命化対象建築物
	5		教室棟	S	1	2003年12月	74	園舎2	S	1	2003年12月	74	15	長寿命化対象建築物
神在幼稚園	6		教室棟	S	1	1995年2月	446	園舎1	S	1	1995年2月	446	24	長寿命化対象建築物
久代幼稚園	10		管理保育室棟	S	1	1994年2月	489	園舎1	S	1	1994年2月	489	25	長寿命化対象建築物
	11		遊戯室棟	S	1	1994年2月	167	園舎2	S	1	1994年2月	167	25	長寿命化対象建築物
山田幼稚園	2		管理教室棟	S	1	1992年1月	363	園舎1	S	1	1992年1月	363	27	長寿命化対象建築物
新本幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	397	園舎1	S	1	1993年2月	397	26	長寿命化対象建築物
昭和幼稚園	6		管理保育室棟	R	1	1999年3月	391	園舎1	R	1	1999年3月	391	20	長寿命化対象建築物
維新幼稚園	1		管理保育室棟	S	1	1971年12月	331	園舎1	S	1	1971年12月	331	47	長寿命化対象建築物
山手幼稚園	1		管理保育室棟	R	2	1984年3月	637	園舎1	R	2	1984年3月	637	35	長寿命化対象建築物
	2		教室棟	R	1	2014年1月	198	園舎2	R	1	2014年1月	198	5	長寿命化対象建築物

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大のものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

図表 3.2.22 認定こども園の長寿命化対象建築物

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	面積(m ²)	管理区分名称	建物管理区分に基づく棟情報					長寿命化の判断
									構造区分	階数	建築年月	面積(m ²)	築年数	
きよね認定こども園	3		認定こども園舎	W	1	2002年3月	864	園舎1	W	1	2002年3月	864	17	長寿命化対象建築物
	5		旧保育園舎	R	1	1982年4月	416							
	6		給食室	S	1	2016年1月	31	園舎2	R	1	1982年4月	508	37	
	7		職員室	S	1	2016年1月	61							

資料：学校施設台帳

注：建物管理区分に基づく情報のうち、構造は、最大の面積のものとする。階数は、最大のものとする。建築年月は、最も古い建築年月とする。面積は、合計とする。

4 学校施設整備の基本的な方針等

4.1 学校施設の規模・配置計画等の方針

『総社市公共施設等総合管理計画』（平成29年3月）では、公共施設の再編方針として、人口規模に応じた施設保有量の維持と市民ニーズに合った施設の有効活用を目指すこととし、以下の三つの基本方針を掲げています。

- ①施設の再編による施設保有量の縮減
- ②計画保全による施設の長寿命化
- ③保有形態の見直しによる効率的な管理運営

ここで、過去10年間の児童・生徒数は、増減を繰り返しながら、横ばい状態であることから、直ちに施設保有量の縮減を迫られるものではないと考えます。しかしながら、将来推計人口をみると、0～14歳までの年少人口が僅かですが減少していくことが想定されていることから、今後は、児童・生徒数の推移を見守りながら、適正な規模や適正な配置等を考慮した学校施設の再編について検討を行います。

なお、本計画では、従来の事後保全的な管理から計画的な予防保全の施設管理を実施し、基本方針に掲げられている「計画保全による施設の長寿命化」に向けて、主体的に取り組むこととします。

このため、施設の日常的な点検の実施により、異常等の早期発見に努め、予防保全へとつなげます。また、隣接する園舎棟、教室棟において、建替えが生じた場合には、一体的に整備が必要な場合を除き、建替え対象棟以外の園舎棟、教室棟を出来るだけ残しつつ、将来の児童・生徒数を考慮に入れた適正な規模での建替えを推進します。

4.2 改修等の基本的な方針

(1) 耐用年数の考え方

耐用年数の考え方については、法定耐用年数、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数などがあり、それらの特性は以下のとおりです。

①法定耐用年数

税務上の原価償却率を求める場合の基となる耐用年数で、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）により定められている年数です。

なお、法定耐用年数は、省令制定当時に建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）毎の耐用年数を総合的に勘案して算出されたといわれており、構造躯体の劣化によって建物が使用できなくなる寿命ではないとされています。

②物理的耐用年数

材料・部品・設備が劣化して建物の性能が低下することによって決定される年数です。

③機能的耐用年数

建築物が時代の変遷とともに期待される機能を果たせなくなってしまうことで決定される年

数です。しかしながら技術的には、機能を向上させることは可能なため、その費用がどの程度かかるかによって、機能的耐用年数に大きく影響します。

④経済的耐用年数

建築物を存続させるために必用となる費用が建築物を存続させることによって得られる価値を上回ってしまうことで決定される年数です。

ただし、実際には公共施設の多くは、建築物を存続させることによって得られる価値の算定が難しい面があります。

(2) 目標耐用年数の設定

本計画における耐用年数は、物理的耐用年数を採用することとし、『建築物の耐久計画に関する考え方』（日本建築学会）を参照し、構造別に以下のように設定します。

図表 4.2.1 建築物の構造別の目標耐用年数

構 造		耐用年数	目標耐用年数
鉄筋コンクリート造（RC造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）		60年	80年
鉄骨造	重量（S造）	60年	80年
	軽量（LS造）	40年	50年
ブロック造、レンガ造		60年	80年
木造（W造）		60年	80年

図表 4.2.2 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造・ レンガ造	木造
	高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 60以上
住宅 事務所 病院	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
店舗旅館・ ホテル	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
工場	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上

資料：『建築物の耐久計画に関する考え方』（日本建築学会）

注：Y_oは、建築物の目標耐用年数の級を示す。

図表 4.2.3 目標耐用年数の級の区分

級 \ 目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
Yo 150	150年	120~200年	120年
Yo 100	100年	80~120年	80年
Yo 60	60年	50~80年	50年
Yo 40	40年	30~50年	30年
Yo 25	25年	20~30年	20年
Yo 15	15年	12~20年	12年
Yo 10	10年	8~12年	8年
Yo 6	6年	5~8年	5年
Yo 3	3年	2~5年	2年

資料：『建築物の耐久計画に関する考え方』（日本建築学会）

注：Yo は、建築物の目標耐用年数の級を示す。

(3) 改修期間の設定

目標耐用年数まで、安全で快適に施設を使用するためには、施設の劣化状況等を考慮しながら計画的な予防保全を実施する必要があります。

なお、それらの更新周期は、部位・設備等によって異なりますが、屋根、外壁についてはおおむね 40 年、設備についてはおおむね 30 年程度となっています。

また、屋根、外壁における塗料の塗替えや上塗り再塗装等の修繕周期はおおむね 10～20 年となっています。

これらを踏まえて、大規模改修の周期を 20 年とし、長寿命化改修の周期を 40 年とします。

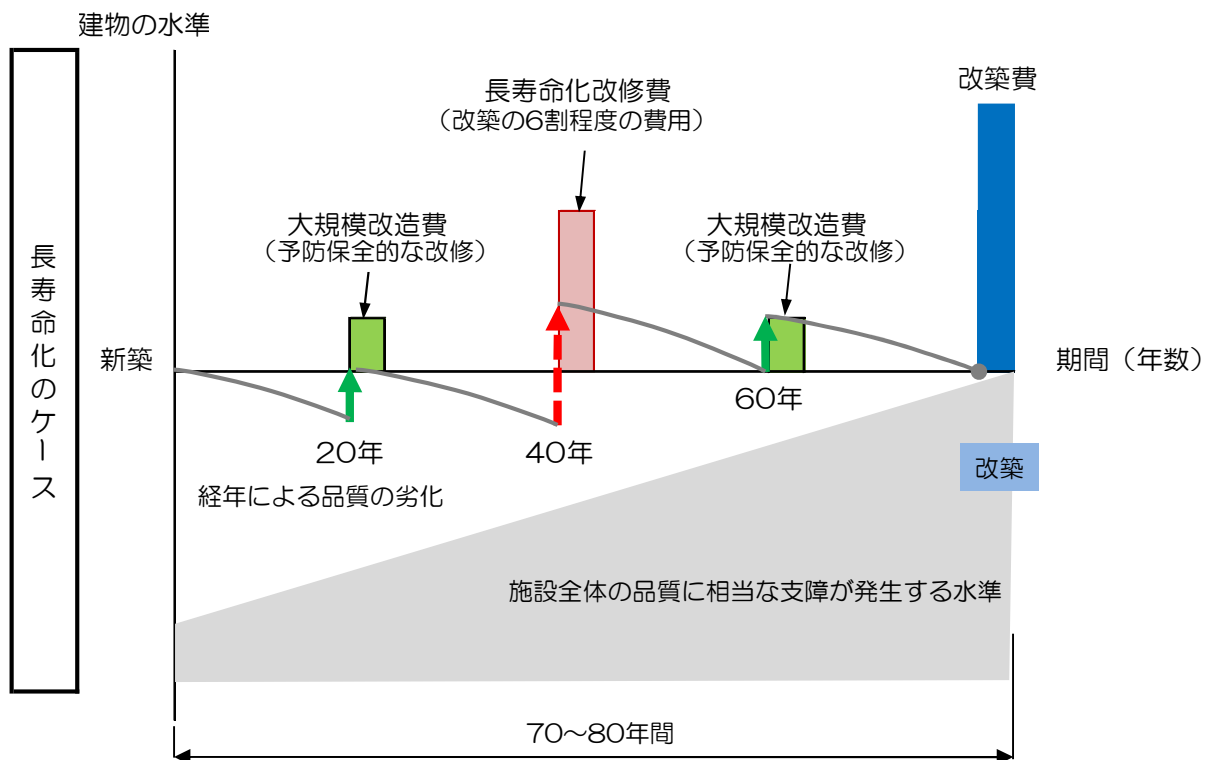
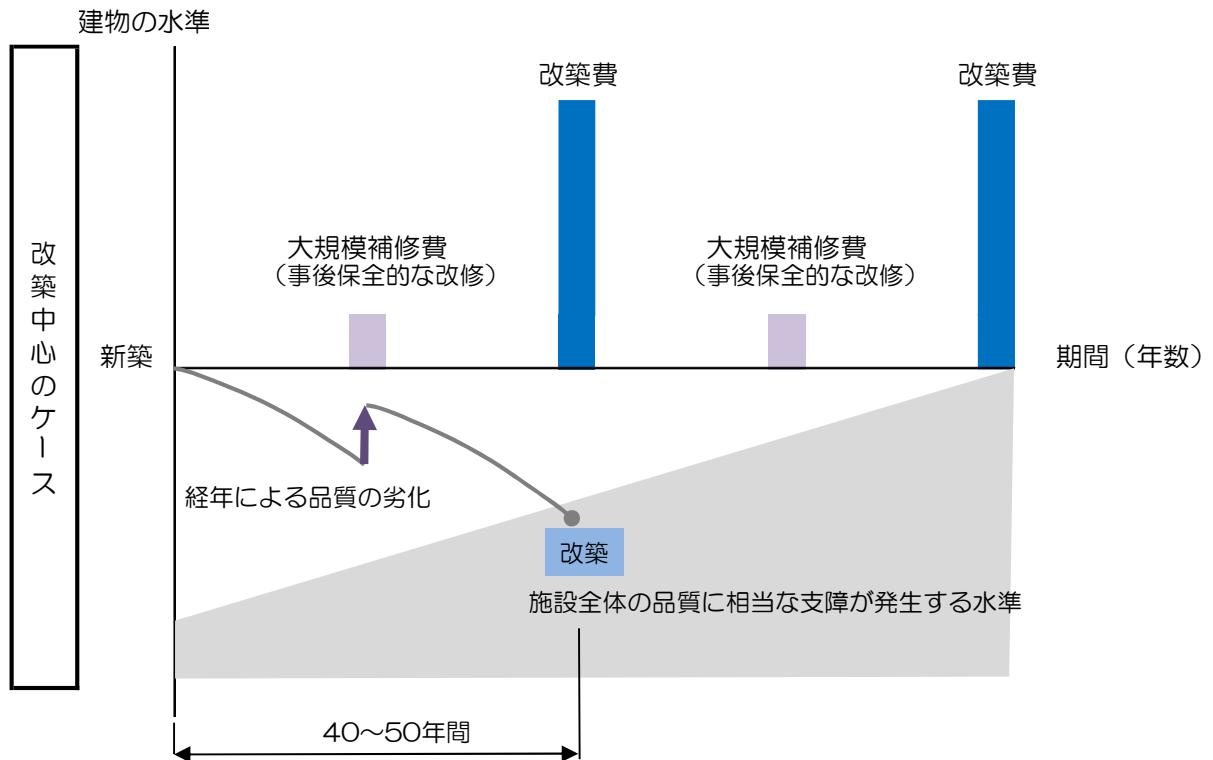
図表 4.2.4 部位毎の主な修繕工事と更新周期の目安

部位・設備等	主な修繕工事	同時に措置した方が良い部位・設備等の例	更新周期の目安（年）
外壁	仕上げ改修（塗装、吹付、タイル張替え等）	シーリング、外部建具、笠木、樋、断熱材	壁（タイル、塗材塗り、塗装、スレート等）：20～50
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、笠木	—
	建具改修（サッシ、カーテンウォール等）	シーリング	建具（アルミ）：40
屋根	防水改修	排水溝（ルーフドレン）、笠木、屋上手すり、設備架台、断熱材	露出防水（露出防水、シート防水、塗膜防水等）：25～40 葺き屋根（スレート、折板等）：40
電気設備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	高圧受配電盤：25～30 高圧変圧器盤：25～30
空調設備	冷暖房設備（ファンコイル、空調機）改修	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水	空気調和機：20～30
	熱源改修	配管等	空調配管類：30
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管、（冷温水管）等	給水給湯配管類：25～30 排水配管類：30～40

資料：『公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル』（平成 17 年 6 月）。

更新周期の目安については、『平成 31 年版 建築物のライフサイクルコスト』を基に関連する部位等から予防保全のものを選定した。

図表 4.2.5 改築中心から長寿命化への転換イメージ



5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5.1 改修等の整備水準



施設を快適で安全に、また、長く利用するために、長寿命化に向けた改修と施設の機能や性能の向上を図るための改修を進めます。

(1) 長寿命化に資する改修

屋根や外壁の劣化、損傷は、構造躯体に影響を及ぼし、建築物全体の寿命を縮めることにつながることから、定期的に修繕や更新を行うこととします。この場合、対策に要する費用と更新スパンを考慮し、ライフサイクルコストの観点から耐久性に優れた安価な材料、工法等を選択することとします。

また、躯体については、コンクリートのひび割れの補修や中性化対策、鉄筋の腐食対策を実施するなど、経年劣化の回復に努めます。なお、施設の機能向上や長寿命化に向けた大規模な改修を実施する際には、コンクリートの強度、中性化深さ等を把握するため、コア抜き調査の実施について検討することとします。

図表 5.1.1 屋根・外壁改修の事例

屋上防水改修（かぶせ工法）	中性化抑制対策
	
<p>既存の防水層の傷んだ部分のみを撤去し、部分的な下地処理をしてから新規防水層を設置する工法。工期も短く、安価となる。</p>	<p>中性化対策のための抑制剤やアルカリ性付与剤の塗布。</p>

資料：『学校施設の長寿命化改修の手引き』（平成 26 年 1 月）

(2) 機能や性能の向上に資する改修

経済・社会情勢の変革や技術の発達により、施設に求められる「要求性能」については、年々高まる傾向にあります。それに伴い、品質が低下していなくても、相対的に性能が低く評価されることとなり、機能の陳腐化が発生することとなります。このため、建築物を長期にわたって使用し続ける間には、社会的なニーズ等に合わせて、性能の向上が必要となります。

本市も、これまでに学校施設への空調設置やエレベーターの設置等に取り組んできましたが、今後も快適な学校生活を送るためにトイレの洋式化・乾式化、人感センサ照明等の整備や、時代に合った教育環境への対応に向けた環境整備に努めます。

また、『エコスクールー環境を考慮した学校施設の整備推進ー』（平成 29 年 6 月）に基づき、太陽光発電の設置や省エネルギー型の照明器具の導入などを検討することとします。

5.2 維持管理の項目・手法等

子ども達が安全で安心な学校生活を送るためには、学校と学校設置者において、校舎等内外の施設・設備を点検し、危険を事前に発見するとともに、危険の除去等の改善措置を講じる必要があります。

ここで、学校設置者は、点検の目的や主体、時期、項目、方法等を定めた点検方針を策定し、学校は、主に目視による錆やひび割れなどの異常を発見し、その進行状況を確認します。

また、学校設置者は、専門業者に依頼し、12条点検、消防用設備の点検等を実施します。学校は、学校保健安全法施行規則に基づく安全点検を実施することとし、この点検方法については、「非構造部材の点検チェックリスト」などを利用した点検とします。

なお、学校が実施した点検結果は、学校設置者に報告するものとします。

図表 5.2.1 学校保健安全法施行規則に基づく安全点検

安全点検の種類	時期・方法等	対象	法的根拠等
定期の安全点検	毎学期1回以上 計画的に、また教職員全員が組織的に実施	児童生徒等が使用する施設・設備及び防火、防災、防犯に関する設備などについて	毎学期1回以上、幼児、児童、生徒又は学生が通常使用する施設及び設備の異常の有無について系統的に行わなければならない(規則28条第1項)
	毎月1回 計画的に、また教職員全員が組織的に実施	児童生徒等が多く使用するとされる校地、運動場、教室、特別教室、廊下、昇降口、ベランダ、階段、便所、手洗い場、給食室、屋上など	明確な規定はないが、各学校の実情に応じて、上記(規則28条第1項)に準じて行われる例が多い
臨時の安全点検	必要があるとき ・運動会や体育祭、学芸会や文化祭、展覧会などの学校行事の前後 ・暴風雨、地震、近隣の火災などの災害時 ・近隣で危害のおそれのある犯罪(侵入や放火など)の発生時など	必要に応じて点検項目を設定	必要があるときは、臨時に、安全点検を行う(規則28条第2項)
日常の安全点検	毎授業日ごと	児童生徒等が最も多く活動を行うと思われる箇所について	設備等について日常的な点検を行い、環境の安全の確保を図らなければならない(規則29条)

資料：「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育(平成31年3月)

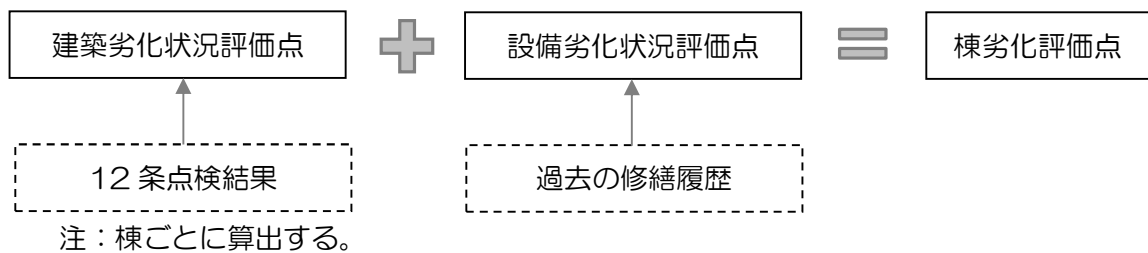
6 長寿命化の実施計画

6.1 改修等の優先順位付け

(1) 劣化評価点

施設点検結果から算出した建築劣化状況評価点と設備の改修履歴等に基づく経過年数から算出した設備劣化状況評価点を算出し、それらの合計により棟毎の劣化評価点を算出します。

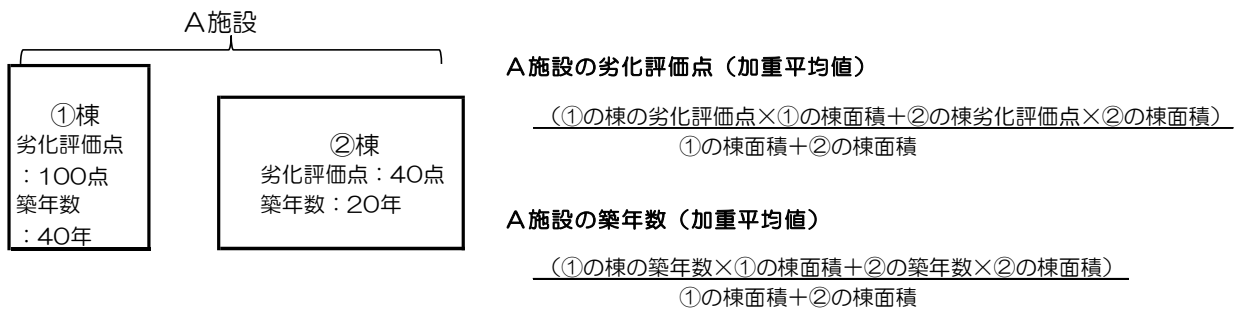
(注：3.2 施設の老朽化状況の実態 (2) 評価基準 参照)



また、棟毎の劣化評価点に棟毎の面積を乗じた値を施設単位で合計した後、施設の面積で除することにより、施設毎の劣化評価点（加重平均値）を算出します。

同様に築年数についても、棟毎の築年数に棟毎の面積を乗じた値を施設単位で合計した後、施設の面積で除することにより、施設毎の築年数（加重平均値）を算出します。

図表 6.1.1 施設の劣化評価点（加重平均値）及び築年数（加重平均値）の算出例



図表 6.1.2 小学校の劣化評価点 (NO.1)

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	①面積 (㎡)	②築年数	①面積×②築年数	③建築劣化状況評価点	④設備の改修実施年	⑤改修後の経過年数 (設備)	⑥設備劣化状況評価点	⑦劣化評価点計 (③+⑥×0.5)	①面積×⑦劣化評価点	管理区分 名称	
総社中央小学校	4		管理教室棟	R	3	1981年2月	1,413	38	53,694	245	2004	15	20	255	360,315	校舎1	
総社中央小学校	5		特別教室棟	R	3	1981年2月	413	38	15,694	25			38	65	26,845	校舎2	
総社中央小学校	6		普通教室棟	R	3	1981年2月	1,958	38	74,404	25	2017	2	0	25	48,950		
総社中央小学校	8		屋内運動場	S	2	1981年2月	800	38	30,400	30			38	70	56,000	体育館	
総社中央小学校							4,584	※② 38	174,192					※① 107	492,110		
総社北小学校	1	1	管理教室棟	R	3	1985年8月	2,432	33	80,256	165	2016	3	0	165	401,280	校舎1	
総社北小学校	2		管理棟	R	3	1985年8月	722	33	23,826	65			33	105	75,810		
総社北小学校	3		特別教室棟	R	3	1985年8月	1,040	33	34,320	260	2005	14	20	270	280,800		
総社北小学校	9		屋内運動場	R	2	1985年12月	882	33	29,106	265			33	305	269,010	体育館	
総社北小学校	10		クラブハウス	R	2	1985年12月	109	33	3,597	0			33	40	4,360		
総社北小学校							5,185	※② 33	171,105					※① 199	1,031,260		
常盤小学校	10		教室棟	R	2	1968年12月	259	50	12,950	20	2017	2	0	20	5,180	校舎1	
常盤小学校	29		教室棟	R	2	1971年12月	693	47	32,571	65	2017	2	0	65	45,045		
常盤小学校	30		教室棟	R	2	1974年12月	382	44	16,808	0	2017	2	0	0	0		
常盤小学校	18		教室棟	R	3	1979年3月	652	40	26,080	80			40	80	120	78,240	校舎2
常盤小学校	35		便所棟	R	3	1979年3月	54	40	2,160	0			40	80	40	2,160	
常盤小学校	20		屋内運動場	S	2	1982年2月	801	37	29,637	0			37	80	40	32,040	体育館
常盤小学校	21		特別教室棟	R	3	1984年2月	1,083	35	37,905	65	2003	16	20	75	81,225	校舎3	
常盤小学校	22		管理普通教室棟	R	3	1990年3月	1,495	29	43,355	45			29	40	65	97,175	
常盤小学校	31		教室棟	R	1	1990年3月	270	29	7,830	5			29	40	25	6,750	校舎4
常盤小学校	32		管理棟	R	1	1990年3月	29	29	841	5			29	40	25	725	
常盤小学校	33		教室棟	R	2	2010年3月	539	9	4,851	0	2017	2	0	0	0	校舎5	
常盤小学校	36		教室棟	S	2	2017年3月	406	2	812	0			2	0	0	校舎6	
常盤小学校							6,663	※② 32	215,800					※① 52	348,540		
総社東小学校	1	1	普通・特別教室棟	R	2	1972年3月	994	47	46,718	155	2017	2	0	155	154,070	校舎1	
総社東小学校	1	2	普通教室	R	2	1973年5月	286	45	12,870	20	2017	2	0	20	5,720		
総社東小学校	21		便所	S	2	2013年11月	20	5	100	0			5	0	0		
総社東小学校	2		管理・特別教室棟	R	2	1973年5月	1,355	45	60,975	35	2012	7	0	35	47,425	校舎2	
総社東小学校	13		放送室	R	1	1988年9月	33	30	990	0			30	80	40	1,320	
総社東小学校	19		給食コンテナ室	S	1	2005年10月	22	13	286	0			13	20	10	220	
総社東小学校	3		屋内運動場	S	2	1974年3月	621	45	27,945	40			45	80	80	49,680	体育館
総社東小学校	18		普通教室	R	2	2002年1月	214	17	3,638	0	2005	14	20	10	2,140	校舎3	
総社東小学校	20		普通教室棟	S	2	2012年10月	314	6	1,884	0			6	0	0	校舎4	
総社東小学校							3,859	※② 40	155,406					※① 68	260,575		
阿曾小学校	13		管理教室棟	R	3	1980年1月	1,083	39	42,237	25	2006	13	20	35	37,905	校舎1	
阿曾小学校	18		玄関・スタジオ	R	1	1990年3月	46	29	1,334	0			29	40	920		
阿曾小学校	15		屋内運動場	S	2	1987年3月	901	32	28,832	85			32	80	125	112,625	体育館
阿曾小学校	17		普通教室棟	R	3	1990年3月	1,308	29	37,932	110	2016	3	0	110	143,880	校舎2	
阿曾小学校							3,338	※② 33	110,335					※① 88	295,330		
池田小学校	3	1	管理教室棟	R	3	1969年12月	806	49	39,494	5	2016	3	0	5	4,030	校舎1	
池田小学校	3	2	—	R	2	1971年3月	81	48	3,888	0			48	80	3,240		
池田小学校	3	3	—	R	1	1993年9月	42	25	1,050	0			25	40	840		
池田小学校	15		—	S	1	1993年9月	24	25	600	0			25	40	480		
池田小学校	16		—	S	1	1993年9月	24	25	600	0			25	40	480		
池田小学校	17		便所・ミーティング棟	R	3	2016年8月	76	2	152	0			2	0	0		
池田小学校	18		図書室・昇降口	S	1	2016年8月	121	2	242	0			2	0	0		
池田小学校	7		教室棟	R	3	1981年3月	882	38	33,516	70	2012	7	0	70	61,740	校舎2	
池田小学校	11		屋内運動場	S	2	1988年3月	847	31	26,257	25			31	80	65	55,055	体育館
池田小学校	12		渡り廊下	S	2	1988年3月	83	31	2,573	25			31	80	65	5,395	
池田小学校							2,986	※② 36	108,372					※① 44	131,260		

資料：学校施設台帳

注：築年数(②)は、建築年月から基準日(2019/4/1)までの期間である。

設備の改修実施年(④)は、空調整備の履歴を参照している。

※①：①面積×⑦劣化評価点の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の劣化評価点(加重平均値)を算出している。

※②：①面積×②築年数の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の築年数(加重平均値)を算出している。

図表 6.1.3 小学校の劣化評価点 (NO.2)

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	①面積 (㎡)	②築年数	①面積×②築年数	③建築劣化状況評価点	④設備の改修実施年	⑤改修後の経過年数 (設備)	⑥設備劣化状況評価点	⑦劣化評価点計 (③+⑥×0.5)	①面積×⑦劣化評価点	管理区分 名称
秦小学校	13		管理・教室棟	R	3	1979年2月	1,833	40	73,320	135	2016	3	0	135	247,455	校舎1
秦小学校	14		屋内運動場	S	2	1980年5月	558	38	21,204	0		38	80	40	22,320	体育館
秦小学校							2,391	※② 40	94,524					※① 113	269,775	
神在小学校	12		管理特別教室棟	R	3	1980年1月	1,139	39	44,421	75		39	80	115	130,985	校舎1
神在小学校	13		屋内運動場	S	2	1979年12月	585	39	22,815	0		39	80	40	23,400	体育館
神在小学校	15	1	普通教室棟	R	2	1988年2月	891	31	27,621	130	2016	3	0	130	115,830	校舎2
神在小学校	15	2	保健室	R	2	1992年8月	105	26	2,730	0		26	40	20	2,100	
神在小学校	15	3	給食コンテナ室	R	1	2001年3月	112	18	2,016	0		18	20	10	1,120	
神在小学校	19		特別教室棟	R	2	2001年3月	305	18	5,490	0	2005	14	20	10	3,050	校舎3
神在小学校							3,137	※② 34	105,093					※① 88	276,485	
総社西小学校	6	1	教室棟	R	2	1966年2月	903	53	47,859	140	2016	3	0	140	126,420	校舎1
総社西小学校	6	2	教室棟	R	2	1967年1月	174	52	9,048	0		52	80	40	6,960	校舎2
総社西小学校	11	1	教室棟	R	2	1976年12月	269	42	11,298	25		42	80	65	17,485	
総社西小学校	14		教室棟	R	2	1980年1月	226	39	8,814	75		39	80	115	25,990	
総社西小学校	15		屋内運動場	S	2	1982年2月	699	37	25,863	50		37	80	90	62,910	体育館
総社西小学校	23		管理教室棟	R	2	1994年8月	1,668	24	40,032	0		24	40	20	33,360	校舎3
総社西小学校							3,939	※② 36	142,914					※① 69	273,125	
新本小学校	15		特別教室棟	R	2	1981年2月	690	38	26,220	140		38	80	180	124,200	校舎1
新本小学校	18		屋内運動場	S	2	1984年2月	689	35	24,115	25		35	80	65	44,785	体育館
新本小学校	20		倉庫	S	1	1987年3月	27	32	864	0		32	80	40	1,080	
新本小学校	21	1	管理普通教室棟	R	3	1988年2月	1,229	31	38,099	65	2016	3	0	65	79,885	
新本小学校	21	2	管理普通教室棟	R	3	2002年11月	41	16	656	0		16	20	10	410	校舎2
新本小学校	23		図書室	R	1	2002年11月	36	16	576	0		16	20	10	360	
新本小学校							2,712	※② 33	90,530					※① 92	250,720	
昭和小学校	19		管理特別棟	R	2	1989年3月	1,235	30	37,050	50	2003	16	20	60	74,100	校舎1
昭和小学校	20	1	普通教室棟	R	2	1989年3月	1,339	30	40,170	25	2016	3	0	25	33,475	校舎2
昭和小学校	20	2	給食・コンテナ室	S	1	1999年3月	16	20	320	0		20	40	20	320	
昭和小学校	22		屋内運動場	S	3	1999年3月	907	20	18,140	5		20	40	25	22,675	
昭和小学校							3,497	※② 27	95,680					※① 37	130,570	
維新小学校	11	1	教室棟	R	3	1991年6月	2,097	27	56,619	115	2016	3	0	115	241,155	校舎1
維新小学校	11	2	ミーティングルーム	R	1	1991年6月	154	27	4,158	20		27	40	40	6,160	
維新小学校	12		屋内運動場	S	2	1992年3月	873	27	23,571	5		27	40	25	21,825	
維新小学校							3,124	※② 27	84,348					※① 86	269,140	
山手小学校	1	1	教室棟	R	3	1978年4月	1,403	41	57,523	55	2017	2	0	55	77,165	校舎1
山手小学校	1	2	教室棟	R	3	1978年7月	200	40	8,000	0	2017	2	0	0	0	
山手小学校	2		屋体棟	S	2	1978年4月	895	41	36,695	0		41	80	40	35,800	
山手小学校	3	1	管理棟	R	2	1979年2月	1,162	40	46,480	50	2004	15	20	60	69,720	校舎2
山手小学校	3	2	階段室	R	2	2002年2月	12	17	204	0		17	20	10	120	
山手小学校	12		教室棟	R	2	2002年2月	192	17	3,264	0		17	20	10	1,920	
山手小学校	9		給食棟	S	2	1995年2月	381	24	9,144	20		24	40	40	15,240	校舎3
山手小学校	13		教室棟	S	2	2015年2月	452	4	1,808	0		4	0	0	0	校舎4
山手小学校							4,697	※② 35	163,118					※① 43	199,965	
清音小学校	7	1	管理・普通教室棟	R	2	1968年12月	571	50	28,550	30		50	80	70	39,970	校舎1
清音小学校	7	2	便所	R	1	1986年12月	7	32	224	0		32	80	40	280	
清音小学校	22		更衣室	S	1	2002年9月	65	16	1,040	0		16	20	10	650	
清音小学校	9	1	教室棟	R	2	1971年12月	642	47	30,174	0	2017	2	0	0	0	校舎2
清音小学校	9	2	階段	S	2	1971年12月	135	47	6,345	30		47	80	70	9,450	
清音小学校	9	3	教室棟	R	2	1977年12月	323	41	13,243	20	2017	2	0	20	6,460	
清音小学校	14	1	普通・特別教室棟	R	3	1978年12月	719	40	28,760	20		40	80	60	43,140	校舎3
清音小学校	23		図工室	R	3	1980年12月	907	38	34,466	45		38	80	85	77,095	体育館
清音小学校	16		屋内運動場	S	2	1983年2月	1,303	36	46,908	5		36	80	45	58,635	
清音小学校							4,672	※② 41	189,710					※① 50	235,680	

資料：学校施設台帳

注：築年数(②)は、建築年月から基準日(2019/4/1)までの期間である。

設備の改修実施年(④)は、空調整備の履歴を参照している。

※①：①面積×⑦劣化評価点の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の劣化評価点(加重平均値)を算出している。

※②：①面積×②築年数の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の築年数(加重平均値)を算出している。

図表 6.1.4 中学校の劣化評価点

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	①面積 (㎡)	②築年数	①面積×②築年数	③建築劣化状況評価点	④設備の改修実施年	⑤改修後の経過年数 (設備)	⑥設備劣化状況評価点	⑦劣化評価点計 (③+⑥×0.5)	①面積×⑦劣化評価点	管理区分 名称
総社東中学校	27	1	教室棟	R	4	1979年10月	3,565	39	139,035	45	2014	5	0	45	160,425	校舎1
総社東中学校	27	3	教室棟	S	2	2016年2月	171	3	513	0	2014	5	0	0	0	
総社東中学校	41		教室棟	R	4	1984年3月	1,815	35	63,525	80	2014	5	0	80	145,200	
総社東中学校	38		教室棟	R	2	1992年12月	439	26	11,414	20	2014	5	0	20	8,780	校舎2
総社東中学校	40		教室棟	S	1	2000年3月	19	19	361	0		19	20	10	190	
総社東中学校	39	1	屋内運動場	R	2	1994年3月	1,627	25	40,675	20		25	40	40	65,080	体育館他
総社東中学校	39	2	クラブハウス	R	2	1994年3月	183	25	4,575	0		25	40	20	3,660	
総社東中学校	39	3	部室	R	2	1994年3月	471	25	11,775	20		25	40	40	18,840	
総社東中学校	39	4	格技場	R	2	1994年3月	509	25	12,725	20		25	40	40	20,360	
総社東中学校	42		教室棟	S	2	2013年9月	442	5	2,210	5	2014	5	0	5	2,210	校舎3
総社東中学校							9,241	※② 31	286,808					※① 46	424,745	
総社西中学校	29	1	教室棟	R	4	1978年3月	1,562	41	64,042	45	2014	5	0	45	70,290	校舎1
総社西中学校	29	2	教室棟	R	4	1978年5月	1,164	40	46,560	20	2014	5	0	20	23,280	
総社西中学校	32	1	教室棟	R	4	1979年12月	960	39	37,440	25	2002	17	20	35	33,600	
総社西中学校	32	2	教室棟	R	4	1979年12月	1,132	39	44,148	50		39	80	90	101,880	体育館他
総社西中学校	38	1	普通教室・特別教室	R	4	1985年3月	1,686	34	57,324	40		34	80	80	134,880	
総社西中学校	48		エレベーター棟	R	4	2013年3月	48	6	288	10		6	0	10	480	
総社西中学校	44	1	屋内運動場	R	2	1991年7月	1,294	27	34,938	25		27	40	45	58,230	
総社西中学校	44	2	クラブハウス	R	2	1991年7月	310	27	8,370	0		27	40	20	6,200	体育館他
総社西中学校	44	3	部室	R	2	1991年7月	471	27	12,717	0		27	40	20	9,420	
総社西中学校	44	4	格技場	R	2	1991年7月	488	27	13,176	20		27	40	40	19,520	
総社西中学校	47		教室棟	R	4	2013年3月	717	6	4,302	0	2014	5	0	0	0	校舎3
総社西中学校							9,832	※② 33	323,305					※① 47	457,780	
総社中学校	18		特別教室棟	R	3	1985年3月	633	34	21,522	200	2000	19	20	210	132,930	校舎1
総社中学校	19		特別教室棟	R	2	1985年3月	378	34	12,852	0		34	80	40	15,120	校舎2
総社中学校	24		技術室	R	1	2001年7月	324	17	5,508	45		17	20	55	17,820	校舎3
総社中学校	25		屋内運動場	R	2	2001年7月	1,495	17	25,415	0		17	20	10	14,950	体育館他
総社中学校	26		地域連携分	R	2	2001年7月	422	17	7,174	20		17	20	30	12,660	
総社中学校	29		教室棟	R	2	1995年12月	199	23	4,577	0		23	40	20	3,980	校舎4
総社中学校	31		多目的ホール	R	1	2013年7月	104	5	520	0	2014	5	0	0	0	校舎5
総社中学校	32		管理・教室棟	R	4	2013年7月	3,349	5	16,745	5	2014	5	0	5	16,745	校舎5
総社中学校							6,904	※② 14	94,313				0	※① 31	214,205	
昭和中学校	1	1	管理教室棟	R	4	1970年3月	1,414	49	69,286	90	2014	5	0	90	127,260	校舎1
昭和中学校	1	2	管理教室棟	R	1	1988年10月	13	30	390	0		30	80	40	520	校舎2
昭和中学校	3	1	特別教室	S	1	1966年1月	165	53	8,745	0		53	80	40	6,600	
昭和中学校	3	2	特別教室	S	1	1964年1月	192	55	10,560	0		55	80	40	7,680	
昭和中学校	15	1	特別教室棟	R	4	1992年3月	735	27	19,845	40		27	40	60	44,100	校舎3
昭和中学校	15	2	部室	R	1	1992年3月	193	27	5,211	20		27	40	40	7,720	
昭和中学校	15	3	武道場	R	2	1992年3月	274	27	7,398	0		27	40	20	5,480	
昭和中学校	16		屋内運動場	R	1	2007年6月	1,253	11	13,783	20		11	20	30	37,590	体育館
昭和中学校							4,239	※② 32	135,218					※① 56	236,950	

資料：学校施設台帳

注：築年数(②)は、建築年月から基準日(2019/4/1)までの期間である。

設備の改修実施年(④)は、空調整備の履歴を参照している。

※①：①面積×⑦劣化評価点の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の劣化評価点(加重平均値)を算出している。

※②：①面積×②築年数の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の築年数(加重平均値)を算出している。

図表 6.1.5 幼稚園の劣化評価点

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	①面積(m)	②築年数	①面積×②築年数	③建築劣化状況評価点	④設備の改修実施年	⑤改修後の経過年数(設備)	⑥設備劣化状況評価点	⑦劣化評価点計(③+⑥×0.5)	①面積×⑦劣化評価点	管理区分名称
総社幼稚園	13	1	教室棟	R	2	1984年2月	640	35	22,400	70	2019	0	0	70	44,800	園舎1
総社幼稚園	13	2	管理棟	R	2	1990年3月	63	29	1,827	0		29	40	20	1,260	
総社幼稚園	15		教室棟	S	1	1994年3月	36	25	900	40		25	40	60	2,160	
総社幼稚園	16		教室棟	R	2	2005年3月	204	14	2,856	100	2019	0	0	100	20,400	
総社幼稚園							943	※② 30	27,983					※① 73	68,620	
総社南幼稚園	3	1	教室棟	R	2	1978年9月	543	40	21,720	140	2019	0	0	140	76,020	園舎1
総社南幼稚園	3	2	教室棟	R	2	2004年1月	3	15	45	0		15	20	10	30	
総社南幼稚園	7		教室棟	R	2	2004年1月	217	15	3,255	25	2019	0	0	25	5,425	
総社南幼稚園							763	※② 33	25,020					※① 107	81,475	
総社北幼稚園	1		管理教室棟	R	2	1983年3月	598	36	21,528	110	2019	0	0	110	65,780	園舎1
常盤幼稚園	11		教室棟	R	2	2000年3月	1,576	19	29,944	65	2019	0	0	65	102,440	園舎1
常盤幼稚園	14		教室棟	R	1	2009年3月	208	10	2,080	0	2019	0	0	0	0	園舎2
常盤幼稚園							1,784	※② 18	32,024					※① 57	102,440	
三須幼稚園	8		管理教室棟	S	1	1991年1月	381	28	10,668	90	2019	0	0	90	34,290	
服部幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	393	26	10,218	60	2019	0	0	60	23,580	園舎1
服部幼稚園	4		教室棟	S	1	2004年12月	88	14	1,232	0	2019	0	0	0	0	園舎2
服部幼稚園							481	※② 24	11,450					※① 49	23,580	
阿曾幼稚園	1		遊戯室棟	R	1	1986年3月	100	33	3,300	40		33	80	80	8,000	園舎1
阿曾幼稚園	2		教室棟	R	1	1986年3月	204	33	6,732	40	2019	0	0	40	8,160	園舎2
阿曾幼稚園	3		管理棟	R	1	1986年3月	130	33	4,290	45		33	80	85	11,050	
阿曾幼稚園							434	※② 33	14,322					※① 63	27,210	
池田幼稚園	4		教室棟	S	1	1995年2月	346	24	8,304	85	2019	0	0	85	29,410	園舎1
栗幼稚園	3		教室棟	S	1	1994年2月	409	25	10,225	160	2019	0	0	160	65,440	園舎1
栗幼稚園	5		教室棟	S	1	2003年12月	74	15	1,110	20		15	20	30	2,220	園舎2
栗幼稚園							483	※② 23	11,335					※① 140	67,660	
神在幼稚園	6		教室棟	S	1	1995年2月	446	24	10,704	95	2019	0	0	95	42,370	園舎1
久代幼稚園	10		管理保育室棟	S	1	1994年2月	489	25	12,225	105	2019	0	0	105	51,345	園舎1
久代幼稚園	11		遊戯室棟	S	1	1994年2月	167	25	4,175	0		25	40	20	3,340	園舎2
久代幼稚園							656	※② 25	16,400					※① 83	54,685	
山田幼稚園	2		管理教室棟	S	1	1992年1月	363	27	9,801	50	2019	0	0	50	18,150	園舎1
新本幼稚園	2		教室棟	S	1	1993年2月	397	26	10,322	20	2019	0	0	20	7,940	園舎1
昭和幼稚園	6		管理保育室棟	R	1	1999年3月	391	20	7,820	85	2019	0	0	85	33,235	園舎1
維新幼稚園	1		管理保育室棟	S	1	1971年12月	331	47	15,557	45	2019	0	0	45	14,895	園舎1
山手幼稚園	1		管理保育室棟	R	2	1984年3月	637	35	22,295	95	2019	0	0	95	60,515	園舎1
山手幼稚園	2		教室棟	R	1	2014年1月	198	5	990	5	2019	0	0	5	990	園舎2
山手幼稚園							835	※② 28	23,285					※① 74	61,505	

資料：学校施設台帳

注：築年数(②)は、建築年月から基準日(2019/4/1)までの期間である。

設備の改修実施年(④)は、空調整備の履歴を参照している。

※①：①面積×⑦劣化評価点の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の劣化評価点(加重平均値)を算出している。

※②：①面積×②築年数の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の築年数(加重平均値)を算出している。

図表 6.1.6 認定こども園の劣化評価点

学校名	棟番号	枝番号	棟名(室名)	構造区分	階数	建築年月	①面積(m)	②築年数	①面積×②築年数	③建築劣化状況評価点	④設備の改修実施年	⑤改修後の経過年数(設備)	⑥設備劣化状況評価点	⑦劣化評価点計(③+⑥×0.5)	①面積×⑦劣化評価点	管理区分名称
きよね認定こども園	3		認定こども園舎	W	1	2002年3月	864	17	14,688	15	2015	4	0	15	12,960	校舎1
きよね認定こども園	5		旧保育園舎	R	1	1982年4月	416	37	15,392	100	2015	4	0	100	41,600	校舎2
きよね認定こども園	6		給食室	S	1	2016年1月	31	3	93	0		3	0	0	0	
きよね認定こども園	7		職員室	S	1	2016年1月	61	3	183	0		3	0	0	0	
きよね認定こども園							1,372	※② 22	30,356					※① 40	54,560	

資料：学校施設台帳

注：築年数(②)は、建築年月から基準日(2019/4/1)までの期間である。

設備の改修実施年(④)は、空調整備の履歴を参照している。

※①：①面積×⑦劣化評価点の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の劣化評価点(加重平均値)を算出している。

※②：①面積×②築年数の施設毎の合計を、施設(①面積)の合計面積で除すことにより、施設毎の築年数(加重平均値)を算出している。

(2) 施設の優先順位付け

ここでは、施設の劣化評価点（加重平均値）に施設の築年数（加重平均値）を加えることにより、最終的な施設の評価点を算出し、それらの偏差値を算出します。

ここでは、偏差値が高いほど、劣化が著しいことを示し、施設整備の優先順位が高くなると考えます。

なお、施設評価点値は、施設毎の加重平均値であることから、棟毎の劣化状況や部位毎の劣化状況にも注視しながら、整備優先順位を決定していくこととします。

偏差値とは、数値がサンプルの中でどれくらいの位置にいるかを示した数値です。標準偏差を10とし、平均値が50となります。

標本が正規分布する場合において、偏差値が50以上60未満は、全体の34.1%となり、60以上は、全体の15.9%となります。

図表 6.1.7 小学校の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
総社中央小学校	4,584	38	107	145	57.2
総社北小学校	5,185	33	199	232	78.6
常盤小学校	6,663	32	52	84	42.2
総社東小学校	3,859	40	68	108	48.1
阿曾小学校	3,338	33	88	121	51.3
池田小学校	2,986	36	44	80	41.2
秦小学校	2,391	40	113	153	59.2
神在小学校	3,137	34	88	122	51.5
総社西小学校	3,939	36	69	105	47.3
新本小学校	2,712	33	92	125	52.3
昭和小学校	3,497	27	37	64	37.2
維新小学校	3,124	27	86	113	49.3
山手小学校	4,697	35	43	78	40.7
清音小学校	4,672	41	50	91	43.9
合計	54,784				

④施設偏差値が50以上、60未満

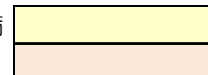
④施設偏差値が60以上

図表 6.1.8 小学校（校舎、体育館）の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
総社中央小学校（校舎）	3,784	38	115	153	57.5
総社中央小学校（体育館）	800	38	70	108	49.0
総社北小学校（校舎）	4,194	33	181	214	69.0
総社北小学校（体育館）	991	33	276	309	87.0
常盤小学校（校舎）	5,862	32	54	86	44.8
常盤小学校（体育館）	801	37	40	77	43.1
総社東小学校（校舎）	3,238	39	65	104	48.2
総社東小学校（体育館）	621	45	80	125	52.2
阿曾小学校（校舎）	2,437	33	75	108	49.0
阿曾小学校（体育館）	901	32	125	157	58.2
池田小学校（校舎）	2,056	39	34	73	42.4
池田小学校（体育館）	930	31	65	96	46.7
秦小学校（校舎）	1,833	40	135	175	61.7
秦小学校（体育館）	558	38	40	78	43.3
神在小学校（校舎）	2,552	32	99	131	53.3
神在小学校（体育館）	585	39	40	79	43.5
総社西小学校（校舎）	3,240	36	65	101	47.7
総社西小学校（体育館）	699	37	90	127	52.6
新本小学校（校舎）	1,996	33	103	136	54.3
新本小学校（体育館）	716	35	64	99	47.3
昭和小学校（校舎）	2,590	30	42	72	42.2
昭和小学校（体育館）	907	20	25	45	37.1
維新小学校（校舎）	2,251	27	110	137	54.5
維新小学校（体育館）	873	27	25	52	38.4
山手小学校（校舎）	3,802	33	43	76	42.9
山手小学校（体育館）	895	41	40	81	43.9
清音小学校（校舎）	3,369	42	53	95	46.5
清音小学校（体育館）	1,303	36	45	81	43.9
合計	54,784				

④施設偏差値が50以上、60未満

④施設偏差値が60以上



図表 6.1.9 中学校の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化状況 評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
総社東中学校	9,241	31	46	77	52.7
総社西中学校	9,832	33	47	80	54.6
総社中学校	6,904	14	31	45	33.2
昭和中学校	4,239	32	56	88	59.5
合計	30,216				

④施設偏差値が50以上、60未満

④施設偏差値が60以上

図表 6.1.10 中学校（校舎、体育館）の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化状況 評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
総社東中学校（校舎）	6,451	34	49	83	57.3
総社東中学校（体育館）	2,790	25	39	64	49.4
総社西中学校（校舎）	7,269	35	50	85	58.2
総社西中学校（体育館）	2,563	27	36	63	49.0
総社中学校（校舎）	4,987	12	37	49	43.1
総社中学校（体育館）	1,917	17	14	31	35.6
昭和中学校（校舎）	2,986	41	67	108	67.8
昭和中学校（体育館）	1,253	11	30	41	39.7
合計	30,216				

④施設偏差値が50以上、60未満

④施設偏差値が60以上

図表 6.1.11 幼稚園の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
総社幼稚園	943	30	73	103	49.5
総社南幼稚園	763	33	107	140	62.4
総社北幼稚園	598	36	110	146	64.5
常盤幼稚園	1,784	18	57	75	39.7
三須幼稚園	381	28	90	118	54.7
服部幼稚園	481	24	49	73	39.0
阿曾幼稚園	434	33	63	96	47.0
池田幼稚園	346	24	85	109	51.6
秦幼稚園	483	23	140	163	70.4
神在幼稚園	446	24	95	119	55.1
久代幼稚園	656	25	83	108	51.2
山田幼稚園	363	27	50	77	40.4
新本幼稚園	397	26	20	46	29.6
昭和幼稚園	391	20	85	105	50.2
維新幼稚園	331	47	45	92	45.6
山手幼稚園	835	28	74	102	49.1
合計	9,632				

④施設偏差値が50以上、60未満

④施設偏差値が60以上

図表 6.1.12 認定こども園の施設評価点

名称	総延床面積 (㎡)	①築年数	②劣化評価点	③施設評価点 (=①+②)	④施設偏差値 (③の偏差値)
きよね認定こども園	1,372	22	40	62	—
合計	1,372				

6.2 長寿命化の実施計画

今後、10年間ににおける整備計画は、以下のとおりです。

部位修繕は、劣化状況評価がC又はDとなっている建築物を対象とします。

長寿命化改修については、改修周期（40年間）を既に経過している場合には、10年以内に実施することとします。なお、改修周期（40年間）を経過していない場合には、工事期間を2年間とします。

図表 6.2.1 整備スケジュール（小学校）

区分	施設名	建物名	面積 (㎡)	建築年度	整備スケジュール										備考		
					令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024	令和7年 2025	令和8年 2026	令和9年 2027	令和10年 2028	令和11年 2029			
小学校	総社中央小学校	校舎1	1,413	1980													
	総社中央小学校	校舎2	2,371	1980													
	総社中央小学校	体育館	800	1980													
	総社北小学校	校舎1	4,194	1985													
	総社北小学校	体育館	991	1985													屋根・屋上、設備
	常盤小学校	校舎1	1,334	1968													
	常盤小学校	校舎2	706	1978													
	常盤小学校	体育館	801	1981													
	常盤小学校	校舎3	1,083	1983													
	常盤小学校	校舎4	1,794	1989													
	常盤小学校	校舎5	539	2009													
	常盤小学校	校舎6	406	2016													
	総社東小学校	校舎1	1,300	1971													
	総社東小学校	校舎2	1,410	1973													
	総社東小学校	体育館	621	1973													
	総社東小学校	校舎3	214	2001													
	総社東小学校	校舎4	314	2012													
	阿曾小学校	校舎1	1,129	1979													
	阿曾小学校	体育館	901	1986													設備
	阿曾小学校	校舎2	1,308	1989													
	池田小学校	校舎1	1,174	1969													
	池田小学校	校舎2	882	1980													
	池田小学校	体育館	930	1987													設備
	秦小学校	校舎1	1,833	1978													
	秦小学校	体育館	558	1980													
	神在小学校	校舎1	1,139	1979													
	神在小学校	体育館	585	1979													設備
	神在小学校	校舎2	1,108	1987													屋根・屋上
	神在小学校	校舎3	305	2000													
	総社西小学校	校舎1	1,077	1965													
	総社西小学校	校舎2	495	1976													
	総社西小学校	体育館	699	1981													
	総社西小学校	校舎3	1,668	1994													設備
新本小学校	校舎1	690	1980														
新本小学校	体育館	716	1983														
新本小学校	校舎2	1,306	1987														
昭和小学校	校舎1	1,235	1988														
昭和小学校	校舎2	1,355	1988														
昭和小学校	体育館	907	1998													設備	
維新小学校	校舎1	2,251	1991														
維新小学校	体育館	873	1991													設備	
山手小学校	校舎1	1,603	1978														
山手小学校	体育館	895	1978														
山手小学校	校舎2	1,366	1978														
山手小学校	校舎3	381	1994													設備	
山手小学校	校舎4	452	2014														
清音小学校	校舎1	643	1968														
清音小学校	校舎2	1,100	1971														
清音小学校	校舎3	1,626	1978														
清音小学校	体育館	1,303	1982														

注：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月）添付のプログラムの出力結果から作成。

なお、老朽化の実態や予算等の関係により、このとおりにならない場合がある。

図表 6.2.2 整備スケジュール（中学校、幼稚園、認定こども園）

区分	施設名	建物名	面積 (㎡)	建築年度	整備スケジュール											備考	
					令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024	令和7年 2025	令和8年 2026	令和9年 2027	令和10年 2028	令和11年 2029			
中学校	総社東中学校	校舎1	5,551	1979													
	総社東中学校	校舎2	458	1992													
	総社東中学校	体育館他	2,790	1993												設備	
	総社東中学校	校舎3	442	2013													
	総社西中学校	校舎1	4,818	1977													
	総社西中学校	校舎2	1,734	1984													
	総社西中学校	体育館他	2,563	1991												設備	
	総社西中学校	校舎3	717	2012													
	総社中学校	校舎1	633	1984													
	総社中学校	校舎2	378	1984													
	総社中学校	校舎3	324	2001													
	総社中学校	体育館他	1,917	2001													
	総社中学校	校舎4	199	1995												設備	
	総社中学校	校舎5	3,453	2013													
	幼稚園	昭和中学校	校舎1	1,427	1969												
		昭和中学校	校舎2	357	1965												
昭和中学校		校舎3	1,202	1991												設備	
昭和中学校		体育館	1,253	2007													
総社幼稚園		園舎1	739	1983													
総社幼稚園		園舎2	204	2004													
総社南幼稚園		園舎1	763	1978													
総社北幼稚園		園舎1	598	1982													
常盤幼稚園		園舎1	1,576	1999													
常盤幼稚園		園舎2	208	2008													
三須幼稚園		園舎1	381	1990													
服部幼稚園		園舎1	393	1992													
服部幼稚園		園舎2	88	2004													
阿曾幼稚園		園舎1	100	1985												設備	
阿曾幼稚園		園舎2	334	1985													
池田幼稚園		園舎1	346	1994													
秦幼稚園	園舎1	409	1993														
秦幼稚園	園舎2	74	2003														
神在幼稚園	園舎1	446	1994														
久代幼稚園	園舎1	489	1993														
久代幼稚園	園舎2	167	1993												設備		
山田幼稚園	園舎1	363	1991														
新本幼稚園	園舎1	397	1992														
昭和幼稚園	園舎1	391	1998														
維新幼稚園	園舎1	331	1971														
山手幼稚園	園舎1	637	1983														
山手幼稚園	園舎2	198	2013														
認定こども園	きよね認定こども園	園舎1	864	2001													
	きよね認定こども園	園舎2	508	1982													

注：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの出力結果から作成。

なお、老朽化の実態や予算等の関係により、このとおりにならない場合がある。

6.3 長寿命化によるコスト、効果の見通し

(1) 工事費の算出

工事費の算出は、管理区分に基づく建築物全 93 棟において算出することとします。

なお、管理区分による一体的な建築物（棟）として扱う場合の諸元（建築年度、構造、面積等）は、以下のように整理します。

【一体的な建築物（棟）として扱う場合の諸元】

- 建築年度は、最も古い建築年度とします。
- 構造は、最大の面積の建築物とします。
- 階数は、最大の建築物とします。
- 面積は、全ての建築物の合計とします。

資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）

また、管理区分による一体的な建築物（棟）として扱う場合の施設点検に基づく劣化評価（A～D）については、最大の面積の建築物で整理します。

図表 6.3.1 一体的な建築物（棟）の諸元 (NO.1)

■ :築50年以上 ■ :築30年以上 基準 2019

建物基本情報															構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価						
						学校種 別	建物用 途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	学校種 別	建物用 途	構造	階数	延床面 積	西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	備考
1		総社中央小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,413	1980	S55	39	旧				長寿命	D	B	B	B	B		
2		総社中央小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	3	2,371	1980	S55	39	旧				長寿命	A	A	B	A	A		
3		総社中央小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	800	1980	S55	39	旧				長寿命	A	A	B	D	D		
4		総社北小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	4,194	1985	S60	34	新				長寿命	B	C	B	A	A		
5		総社北小学校	体育館			小学校	体育館	RC	2	991	1985	S60	34	新				長寿命	D	A	B	D	D		
6		常盤小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	1,334	1968	S43	51	旧				長寿命	C	A	B	A	A		
7		常盤小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	3	706	1978	S53	41	旧				長寿命	C	A	A	D	D		
8		常盤小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	801	1981	S56	38	旧				長寿命	A	A	A	D	D		
9		常盤小学校	校舎3			小学校	校舎	RC	3	1,083	1983	S58	36	新				長寿命	C	B	B	A	B		
10		常盤小学校	校舎4			小学校	校舎	RC	3	1,794	1989	H元	30	新				長寿命	C	A	B	C	C		
11		常盤小学校	校舎5			小学校	校舎	RC	2	539	2009	H21	10	新				長寿命	A	A	A	A	A		
12		常盤小学校	校舎6			小学校	校舎	S	2	406	2016	H28	3	新				長寿命	A	A	A	A	A		
13		総社東小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	1,300	1971	S46	48	旧				長寿命	B	B	B	A	A		
14		総社東小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	1,410	1973	S48	46	旧				長寿命	A	B	B	A	A		
15		総社東小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	621	1973	S48	46	旧				長寿命	A	A	A	D	D		
16		総社東小学校	校舎3			小学校	校舎	RC	2	214	2001	H13	18	新				長寿命	A	A	A	B	B		
17		総社東小学校	校舎4			小学校	校舎	S	2	314	2012	H24	7	新				長寿命	A	A	A	A	A		
18		阿曾小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,129	1979	S54	40	旧				長寿命	B	A	B	B	B		
19		阿曾小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	901	1986	S61	33	新				長寿命	A	B	B	D	D		
20		阿曾小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	3	1,308	1989	H元	30	新				長寿命	B	B	B	A	A		
21		池田小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,174	1969	S44	50	旧				長寿命	A	A	B	A	A		
22		池田小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	3	882	1980	S55	39	旧				長寿命	A	B	B	A	A		
23		池田小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	930	1987	S62	32	新				長寿命	A	B	B	D	D		
24		秦小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,833	1978	S53	41	旧				長寿命	B	B	C	A	A		
25		秦小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	558	1980	S55	39	旧				長寿命	A	A	A	D	D		
26		神在小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,139	1979	S54	40	旧				長寿命	B	B	B	D	D		
27		神在小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	585	1979	S54	40	旧				改築	A	A	A	D	D		
28		神在小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	1,108	1987	S62	32	新				長寿命	D	B	B	A	A		
29		神在小学校	校舎3			小学校	校舎	RC	2	305	2000	H12	19	新				長寿命	A	A	A	B	B		
30		総社西小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	1,077	1965	S40	54	旧				改築	B	B	A	A	A		
31		総社西小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	495	1976	S51	43	旧				長寿命	A	A	B	D	D		
32		総社西小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	699	1981	S56	38	旧				長寿命	A	B	B	D	D		
33		総社西小学校	校舎3			小学校	校舎	RC	2	1,668	1994	H6	25	新				長寿命	A	A	A	C	C		
34		新本小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	690	1980	S55	39	旧				長寿命	D	B	A	D	D		
35		新本小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	716	1983	S58	36	新				長寿命	A	B	B	D	D		
36		新本小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	3	1,306	1987	S62	32	新				長寿命	B	B	B	A	A		
37		昭和小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	1,235	1988	S63	31	新				長寿命	A	B	B	B	B		
38		昭和小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	1,355	1988	S63	31	新				長寿命	A	B	B	A	A		
39		昭和小学校	体育館			小学校	体育館	S	3	907	1998	H10	21	新				長寿命	A	A	B	C	C		
40		維新小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	2,251	1991	H3	28	新				長寿命	B	B	B	A	A		
41		維新小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	873	1991	H3	28	新				長寿命	A	A	B	C	C		
42		山手小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	3	1,603	1978	S53	41	旧				改築	B	B	B	A	A		
43		山手小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	895	1978	S53	41	旧				改築	A	A	A	D	D		
44		山手小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	1,366	1978	S53	41	旧				長寿命	A	B	B	B	B		
45		山手小学校	校舎3			小学校	校舎	S	2	381	1994	H6	25	新				長寿命	A	A	A	C	C		
46		山手小学校	校舎4			小学校	校舎	S	2	452	2014	H26	5	新				長寿命	A	A	A	A	A		
47		清音小学校	校舎1			小学校	校舎	RC	2	643	1968	S43	51	旧				長寿命	A	B	C	D	D		
48		清音小学校	校舎2			小学校	校舎	RC	2	1,100	1971	S46	48	旧				長寿命	A	A	A	A	A		
49		清音小学校	校舎3			小学校	校舎	RC	3	1,626	1978	S53	41	旧				長寿命	A	B	A	D	D		
50		清音小学校	体育館			小学校	体育館	S	2	1,303	1982	S57	37	新				長寿命	A	A	B	D	D		

図表 6.3.2 一体的な建築物（棟）の諸元（NO.2）

■:築50年以上 ■:築30年以上 基準 2019

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

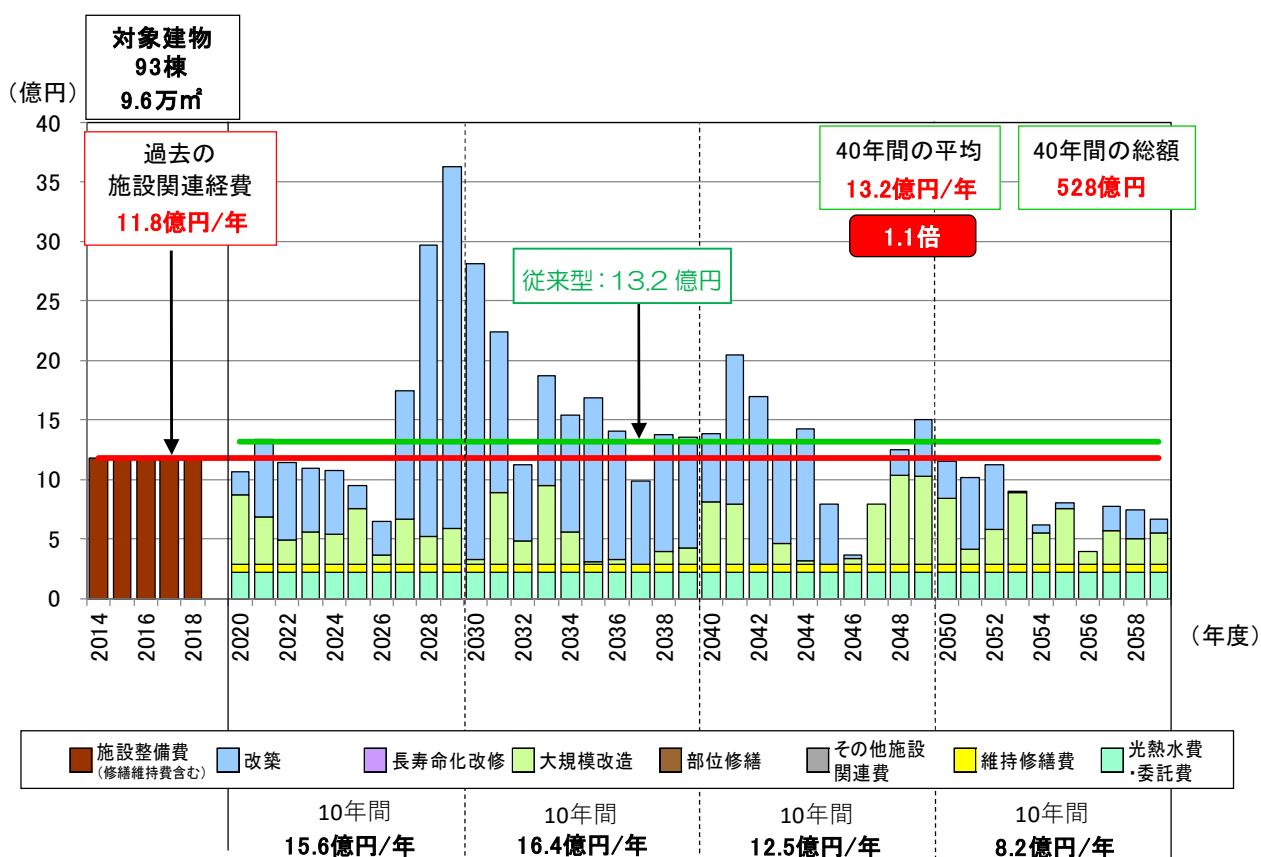
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	構造躯体の健全性			劣化状況評価			備考				
						学校種 別	建物用 途				西暦	和暦		耐震安全性	長寿命化判定		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上		電 気 設 備	機 械 設 備		
															基準	診断							補強	調査 年度
51		総社東中学校	校舎1			中学校	校舎	RC	4	5,551	1979	S54	40	旧				改築	B	B	B	A	A	
52		総社東中学校	校舎2			中学校	校舎	RC	2	458	1992	H4	27	新				長寿命	A	A	A	A	A	
53		総社東中学校	体育館他			中学校	体育館	RC	2	2,790	1993	H5	26	新				長寿命	A	A	A	C	C	
54		総社東中学校	校舎3			中学校	校舎	S	2	442	2013	H25	6	新				長寿命	A	A	B	A	A	
55		総社西中学校	校舎1			中学校	校舎	RC	4	4,818	1977	S52	42	旧				長寿命	B	A	B	A	A	
56		総社西中学校	校舎2			中学校	校舎	RC	4	1,734	1984	S59	35	新				長寿命	B	A	A	D	D	
57		総社西中学校	体育館他			中学校	体育館	RC	2	2,563	1991	H3	28	新				長寿命	A	A	B	C	C	
58		総社西中学校	校舎3			中学校	校舎	RC	4	717	2012	H24	7	新				長寿命	A	A	A	A	A	
59		総社中学校	校舎1			中学校	校舎	RC	3	633	1984	S59	35	新				長寿命	D	B	A	B	B	
60		総社中学校	校舎2			中学校	校舎	RC	2	378	1984	S59	35	新				長寿命	A	A	A	D	D	
61		総社中学校	校舎3			中学校	校舎	RC	1	324	2001	H13	18	新				長寿命	A	B	B	B	B	
62		総社中学校	体育館他			中学校	体育館	RC	2	1,917	2001	H13	18	新				長寿命	A	A	A	B	B	
63		総社中学校	校舎4			中学校	校舎	RC	2	199	1995	H7	24	新				長寿命	A	A	A	C	C	
64		総社中学校	校舎5			中学校	校舎	RC	4	3,453	2013	H25	6	新				長寿命	A	A	B	A	A	
65		昭和中学校	校舎1			中学校	校舎	RC	4	1,427	1969	S44	50	旧				長寿命	B	B	B	A	A	
66		昭和中学校	校舎2			中学校	校舎	S	1	357	1965	S40	54	旧				長寿命	A	A	A	D	D	
67		昭和中学校	校舎3			中学校	校舎	RC	4	1,202	1991	H3	28	新				長寿命	A	A	A	C	C	
68		昭和中学校	体育館			中学校	体育館	RC	1	1,253	2007	H19	12	新				長寿命	A	A	A	B	B	
69		総社幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	2	739	1983	S58	36	新				長寿命	B	A	B	A	A	
70		総社幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	RC	2	204	2004	H16	15	新				長寿命	B	A	A	A	A	
71		総社南幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	2	763	1978	S53	41	旧				長寿命	B	A	B	A	A	
72		総社北幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	2	598	1982	S57	37	新				長寿命	B	B	B	A	A	
73		常盤幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	2	1,576	1999	H11	20	新				長寿命	A	A	B	A	A	
74		常盤幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	RC	1	208	2008	H20	11	新				長寿命	A	A	A	A	A	
75		三須幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	381	1990	H2	29	新				長寿命	B	B	B	A	A	
76		服部幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	393	1992	H4	27	新				長寿命	A	B	A	A	A	
77		服部幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	S	1	88	2004	H16	15	新				長寿命	A	A	A	A	A	
78		阿曾幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	1	100	1985	S60	34	新				長寿命	A	B	A	D	D	
79		阿曾幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	RC	1	334	1985	S60	34	新				長寿命	A	B	A	A	A	
80		池田幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	346	1994	H6	25	新				長寿命	B	B	B	A	A	
81		泰幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	409	1993	H5	26	新				長寿命	B	B	A	A	A	
82		泰幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	S	1	74	2003	H15	16	新				長寿命	A	B	A	B	B	
83		神在幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	446	1994	H6	25	新				長寿命	B	B	B	A	A	
84		久代幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	489	1993	H5	26	新				長寿命	B	B	B	A	A	
85		久代幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	S	1	167	1993	H5	26	新				長寿命	A	A	A	C	C	
86		山田幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	363	1991	H3	28	新				長寿命	B	A	B	A	A	
87		新本幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	397	1992	H4	27	新				長寿命	B	A	A	A	A	
88		昭和幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	1	391	1998	H10	21	新				長寿命	B	B	B	A	A	
89		維新幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	S	1	331	1971	S46	48	旧				長寿命	B	A	B	A	A	
90		山手幼稚園	園舎1			幼稚園	園舎	RC	2	637	1983	S58	36	新				長寿命	A	B	B	A	A	
91		山手幼稚園	園舎2			幼稚園	園舎	RC	1	198	2013	H25	6	新				長寿命	A	A	B	A	A	
92		きよね認定こども園	校舎1			その他	園舎	W	1	864	2001	H13	18	新				長寿命	A	A	B	A	A	
93		きよね認定こども園	校舎2			その他	園舎	RC	1	508	1982	S57	37	新				長寿命	B	B	A	A	A	

①従来型（再掲）

令和 2 年度（2020 年度）から令和 41 年度（2059 年度）までの 40 年間で必要となる維持・更新費用は約 528 億円となります。改築は、令和 9 年度（2027 年度）から令和 13 年度（2031 年度）頃にかけて多くなっています。

年平均は 13.2 億円で、先述の直近 5 年間の施設関連経費の平均値である 11.8 億円の 1.1 倍となります。

図表 6.3.3 維持・更新コスト（従来型）



資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムを利用して管理区分に基づき作成

注：過去 5 年間の施設関連経費は、平成 25 年度（2013 年度）から平成 29 年度（2017 年度）の平均値を示している。

なお、これらの計算条件は、以下に示すとおりです。

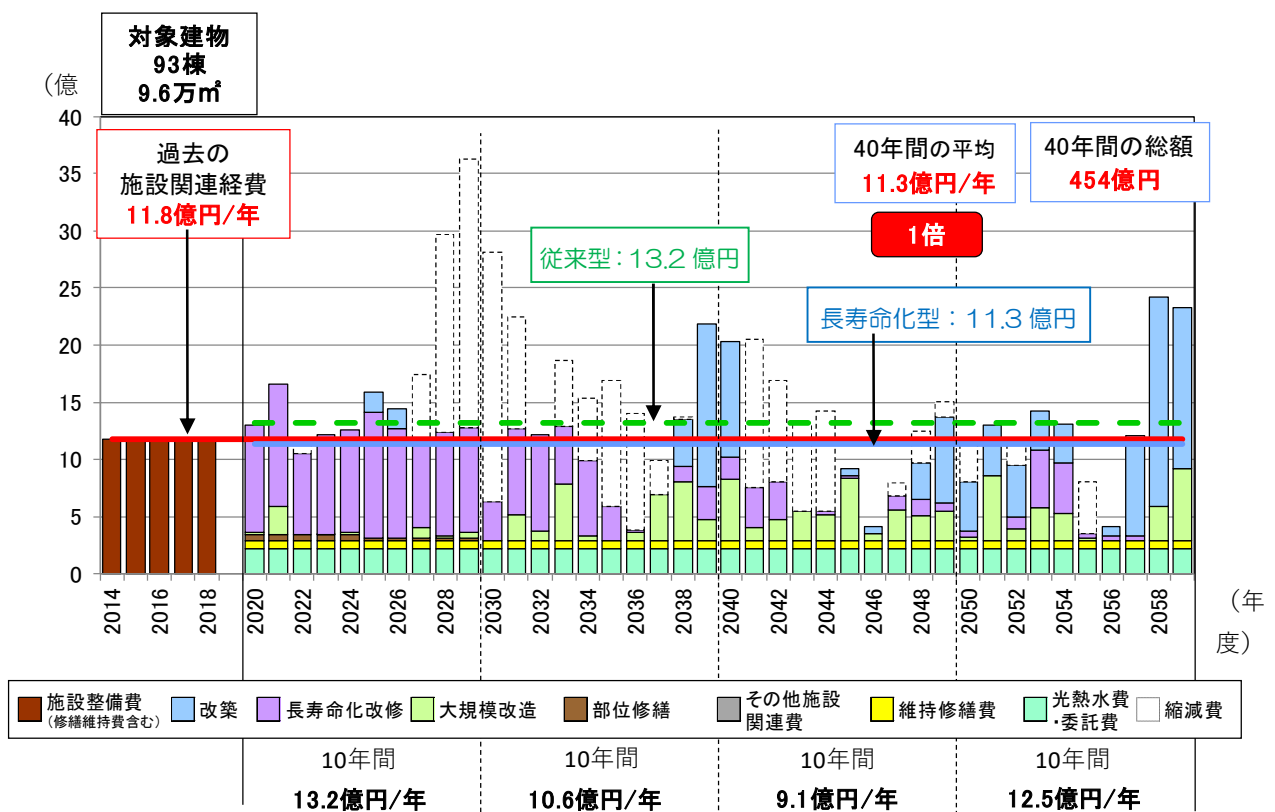
- 改築までの期間：50 年間
注：改築時期を既に経過している場合には、10 年以内に実施。
工事期間は 2 年間
- 大規模改造までの期間：20 年周期
注：工事期間は 1 年間
- 改築単価：330,000 円/m²
注：『地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成 23 年 3 月）における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）費用を参照
- 大規模改造単価：82,500 円/m²
注：改築単価の 25%（『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの初期値）
- 維持修繕費：72,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値を使用
- 光熱水費、委託費等：218,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値（178,783 千円+38,893 千円）を使用

②長寿命化型

従来型の建替え主体から適正な予防保全を実施することにより、建築物の長寿命化を進めていきます。

建築物の建替え（更新）時期は、目標耐用年数である80年とした場合、令和2年度（2020年度）から令和41年度（2059年度）までの40年間で必要となる維持・更新費用は約454億円となります。年平均は11.3億円で、先述の直近5年間の施設関連経費の平均値である11.8億円をやや下回ります。

図表 6.3.4 維持・更新コスト（長寿命化型）



資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成29年3月）添付のプログラムを利用して管理区分に基づき作成

注：過去5年間の施設関連経費は、平成25年度（2013年度）から平成29年度（2017年度）の平均値を示している。

なお、これらの計算条件は、以下に示すとおりです。

- 建替え（更新）までの期間：80 年間
注：改築時期を既に経過している場合には、10 年以内に実施。工事期間は 2 年間。
- 長寿命化改修までの期間：40 年周期
注：改修時期を既に経過している場合には、10 年以内に実施。工事期間は 2 年間。
- 大規模改造までの期間：20 年周期
注：工事期間は 1 年間
- 改築単価：330,000 円/㎡
注：『地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成 23 年 3 月）における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）費用を参照
- 長寿命化改修単価：198,000 円/㎡
注：改築単価の 60%（『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの初期値）
- 大規模改造単価：82,500 円/㎡
注：改築単価の 25%（『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの初期値）
- 維持修繕費：72,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値を使用
- 光熱水費、委託費等：218,000 千円/年
注：直近 5 年間の平均値（178,783 千円+38,893 千円）を使用

ここで、建築物の劣化状況に応じて、部位修繕費を計上します。

『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムでは、「図表 6.3.1 一体的な建築物（棟）の諸元（NO.1）」における劣化状況評価が C 又は D の場合、部位修繕費を計上することとしています。

なお、C 評価の場合には、今後 10 年以内に部位修繕を実施することとし、D 評価の場合には、今後 5 年以内に部位修繕を実施します。

※劣化状況評価が A 又は B の場合には、部位修繕費は発生しない。

また、劣化状況評価が A の場合、今後、10 年以内に長寿命化改修が発生する場合には、長寿命化改修費用から、部位修繕費を差し引くこととする。

図表 6.3.5 部位別修繕費（㎡当り）

部位	建物用途		
	校舎	体育館	園舎
屋根・屋上	改築単価の3.5%	改築単価の3.0%	改築単価の3.5%
外壁	改築単価の5.1%	改築単価の3.5%	改築単価の5.1%
内部仕上げ	改築単価の5.6%	改築単価の5.6%	改築単価の5.6%
電気設備	改築単価の4.0%	改築単価の4.8%	改築単価の4.0%
機械設備	改築単価の3.7%	改築単価の1.7%	改築単価の3.7%

注：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムの出力結果から整理

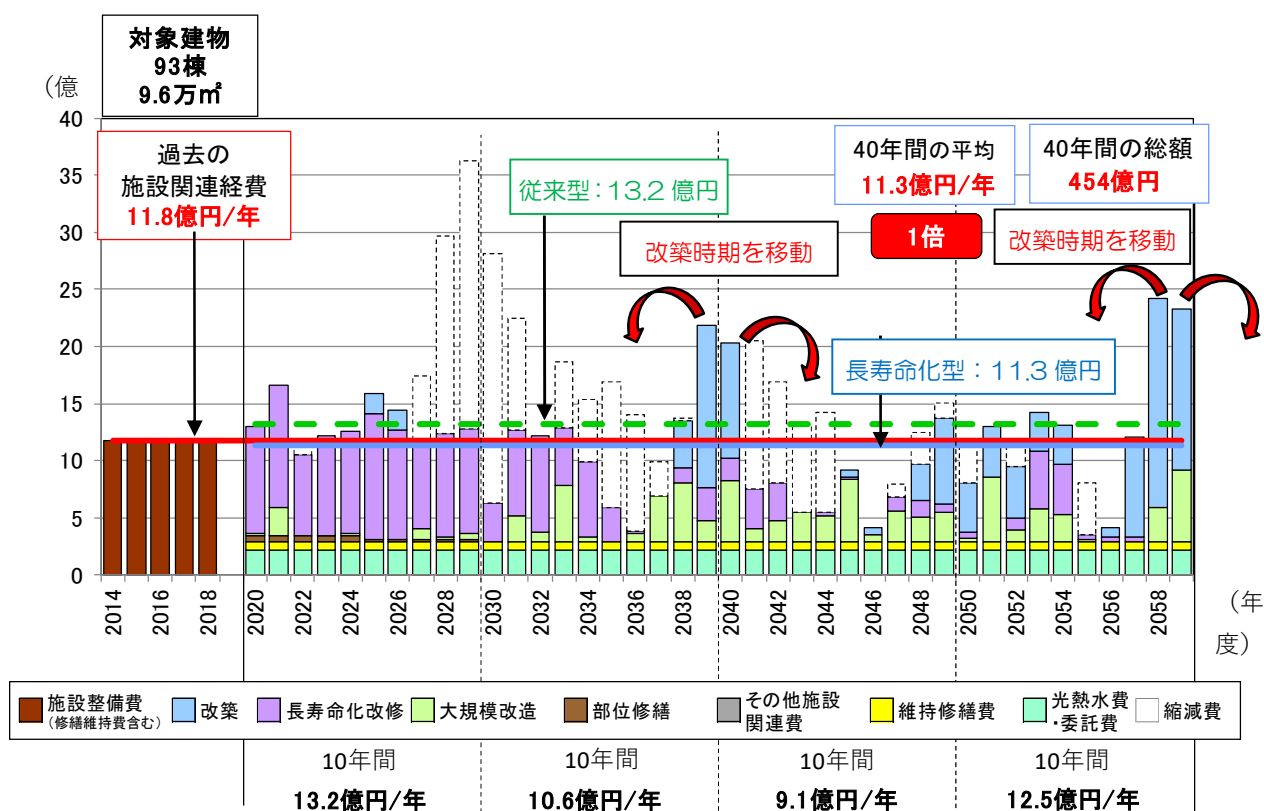
(2) 効果の見通し

建築物の長寿命化を進めていくことにより、年間のコストは約 11.3 億円となり、従来の建替え主体によるコスト（年間 13.2 億円）と比べて年間 2 億円の縮減が見込まれます。また、過去 5 年間の施設関連経費である年間 11.8 億円をやや下回ります。

さらには、従来型においてみられた令和 9 年度（2027 年度）から令和 13 年度（2031 年度）頃にかけて多くなっていた改築費用は、平準化されます。

なお、令和 21 年度（2039 年度）から令和 22 年度（2040 年度）及び令和 40 年度（2058 年度）から令和 41 年度（2059 年度）にかけて改築費が多くなっていますが、工事時期を調整することによって、コストの平準化を図ります。

図表 6.3.6 維持・更新コスト（長寿命化型）



資料：『学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書』（平成 29 年 3 月）添付のプログラムを利用して管理区分に基づき作成

注：過去 5 年間の施設関連経費は、平成 25 年度（2013 年度）から平成 29 年度（2017 年度）の平均値を示している。

7 長寿命化計画の継続的運用方針

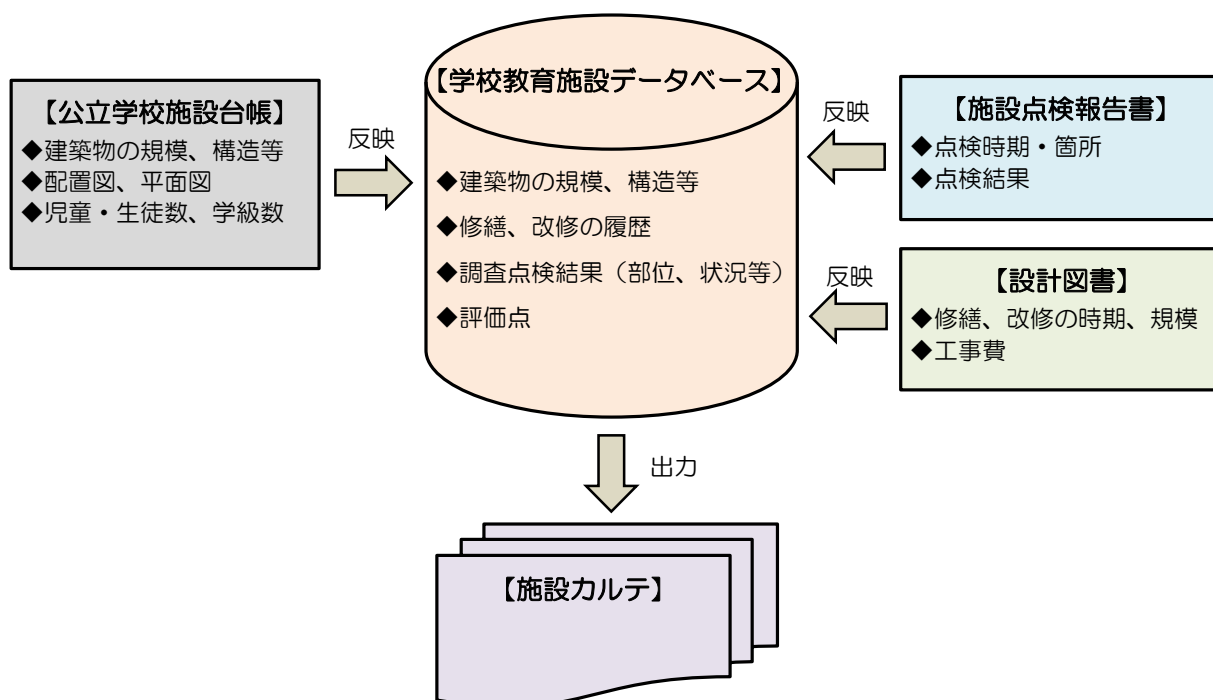
7.1 情報基盤の整備と活用

現在までに学校教育施設における各建築物の規模、構造、配置等及び施設毎の児童・生徒数などを公立学校施設台帳にて整理をしてきました。これ以外にも施設の修繕や改修を実施した場合には、その履歴などの整理に努めてきました。

今後は、建築物の規模、構造や修繕、改修工事の履歴、施設点検における結果等の情報を総合的に管理するデータベースを構築し、そこから必要な情報を出力することによって、施設カルテを作成します。

なお、これらの情報を用いて、点検における要確認箇所の把握や今後、想定される修繕・改修工事に向けた準備、施設の再編に関する検討等に活用することとします。

図表 7.1.1 学校教育施設情報管理のイメージ

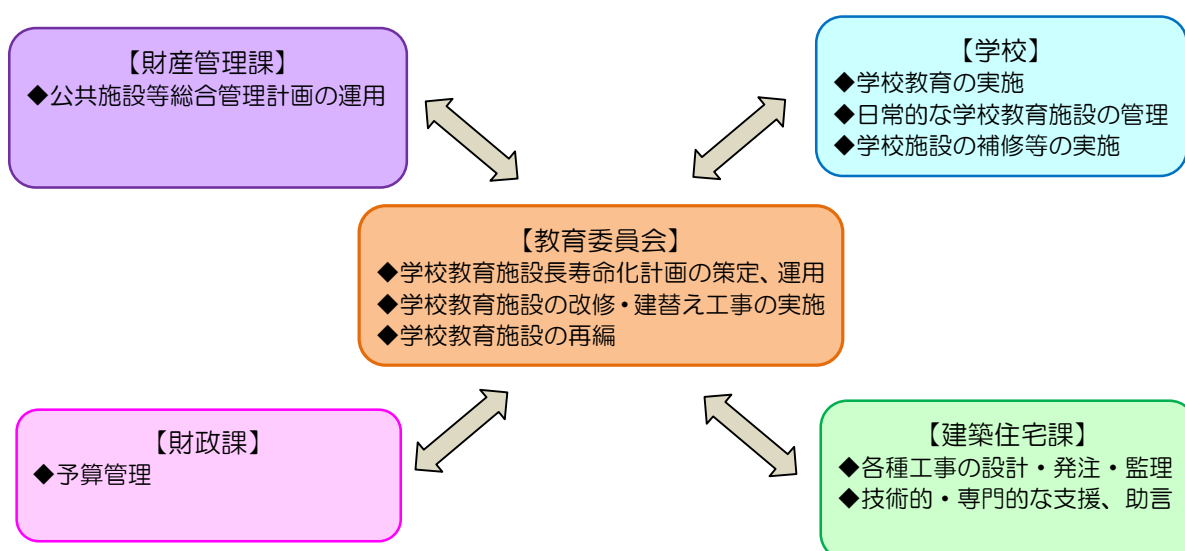


7.2 推進体制等の整備

学校教育施設の整備については、教育委員会、学校、財政課、建築住宅課等が関係することとなります。このため、これら関係課とは、管理、点検結果の情報共有や工事・修繕等の実施時期、費用の調達等について密に調整・連携を図りながら、学校教育施設の長寿命化に向けて取組みます。

公共施設等の保有量の縮減に向けた施設の複合化、転用等の全庁的な再編については、多くの施設所管課との調整・連携が必要となることから、連絡会や調整会の実施について検討します。また、地域コミュニティの核としての新たな学校施設の在り方については、地域住民、関係団体との意見交換を行うなど、必要な機能や役割について検討します。

図表 7.2.1 長寿命化に向けた庁内推進体制



7.3 フォローアップ

本計画は、約 40 年間の長期を見据えた施設整備の計画であることから、計画の進行管理に向けてPDCAサイクルを実行することが重要となります。

今後は、PDCAサイクルを概ね 10 年単位を基本とし、修繕・更新等に要した工事費、工事実施周期等について検証を行い、計画との差異が大きい場合には、本計画の見直しを行います。

また、児童・生徒数の変化や施設の老朽化の変化、本市の公共施設全般における削減目標・再編方針等が大きく変わった場合等は、本計画の見直しを行います。

図表 7.3.1 PDCAサイクル

